

名称

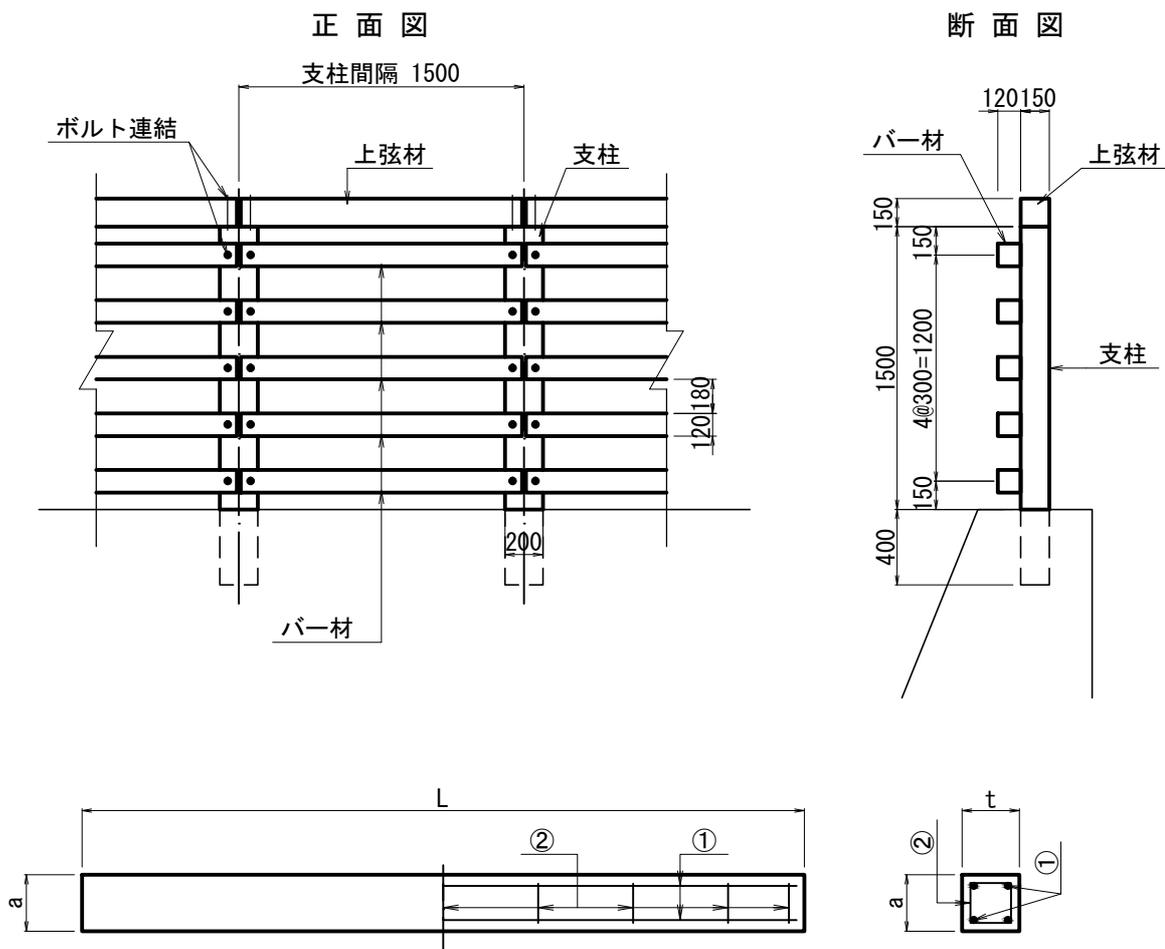
雪庇防止柵

標準設計番号

—

工種記号

—



項目 呼び名	寸法 (mm)			鉄筋				参考質量 (kg)
	a	t	L	①		②		
				径	本数	径	本数	
支柱	200	150	1900	D10	4	D6	9	137
上弦材	150	150	1480	D10	4	D6	7	80
バー材	120	120	1480	D6	4	D6	7	51
許容差	±5		±10	—				—

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30 \text{ N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295A とする。
- ・ 適用場所は次の通りとする。
 - a) 積雪深 $H = 2.5 \text{ m}$ 以下の場所
 - b) 斜面雪圧の作用しない場所

名称

PCスノーキーパー

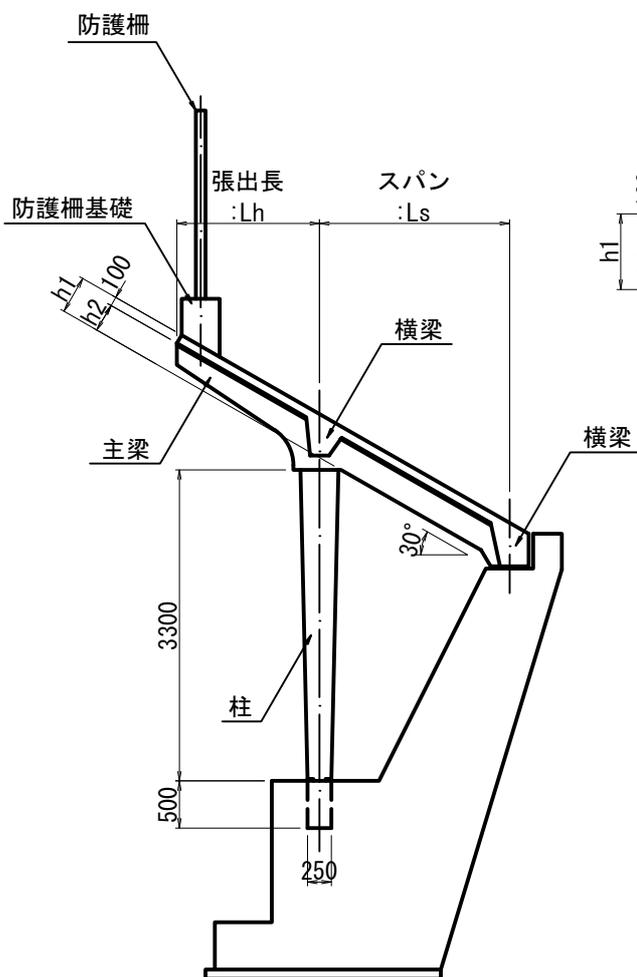
標準設計番号

-

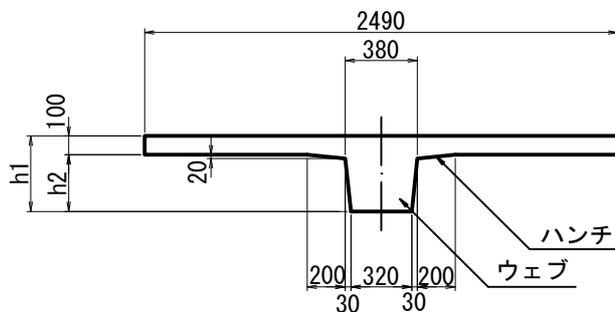
工種記号

-

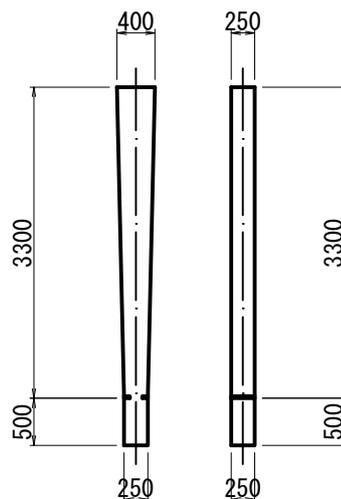
横断図



主梁断面図



柱断面図



寸法表

タイプ	Ls (mm)	Lh (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)
S	2000	1500	400	300
M	2500	1500	400	300
L	3000	2000	500	400

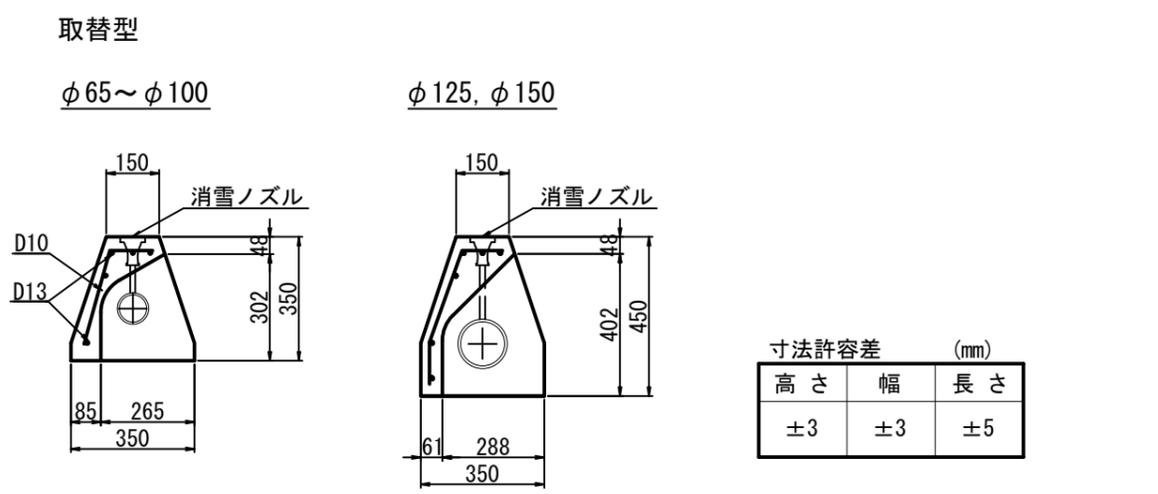
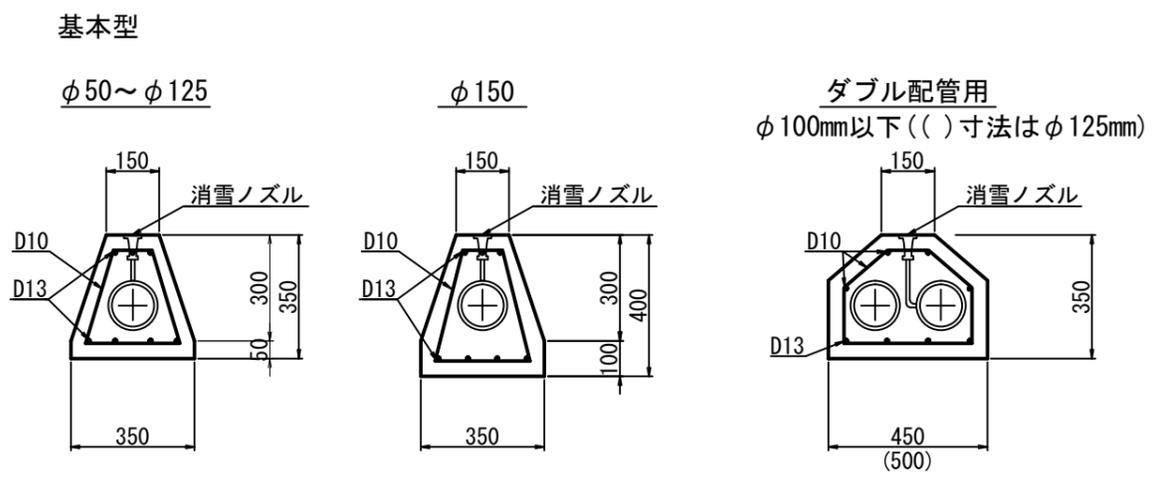
寸法許容差

主梁	長さ	幅	高さ	厚さ
	±10mm		±5mm	
柱	柱長さ	幅	厚さ	根入れ長
	±10mm		±5mm	

特記事項

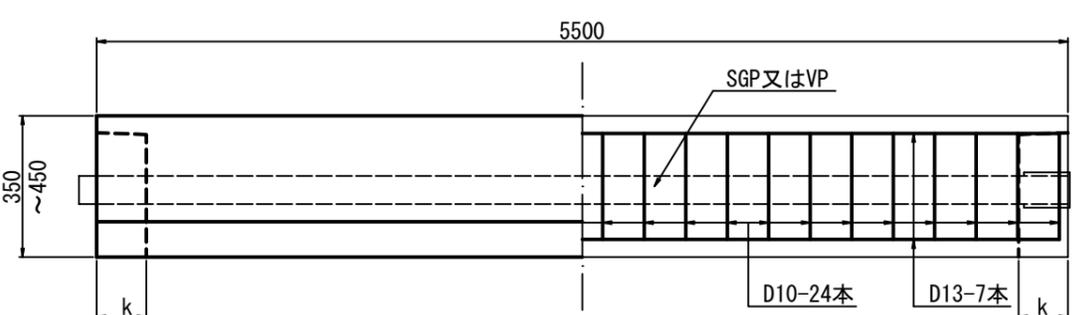
- ・ 設計は「道路防雪施設マニュアル(社団法人 北陸建設弘済会)」を参照する。
- ・ $\sigma_{ck}=60\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ PC鋼材は SWPR7BL 及び SBPR930/1080 とする。
- ・ 鉄筋は SD295A または SD345 とする。

名称	消雪パイプ	標準設計番号	道-Ⅶ-2 道-Ⅶ-5
		工種記号	SMF-S SMF-W SMF-T



寸法許容差 (mm)

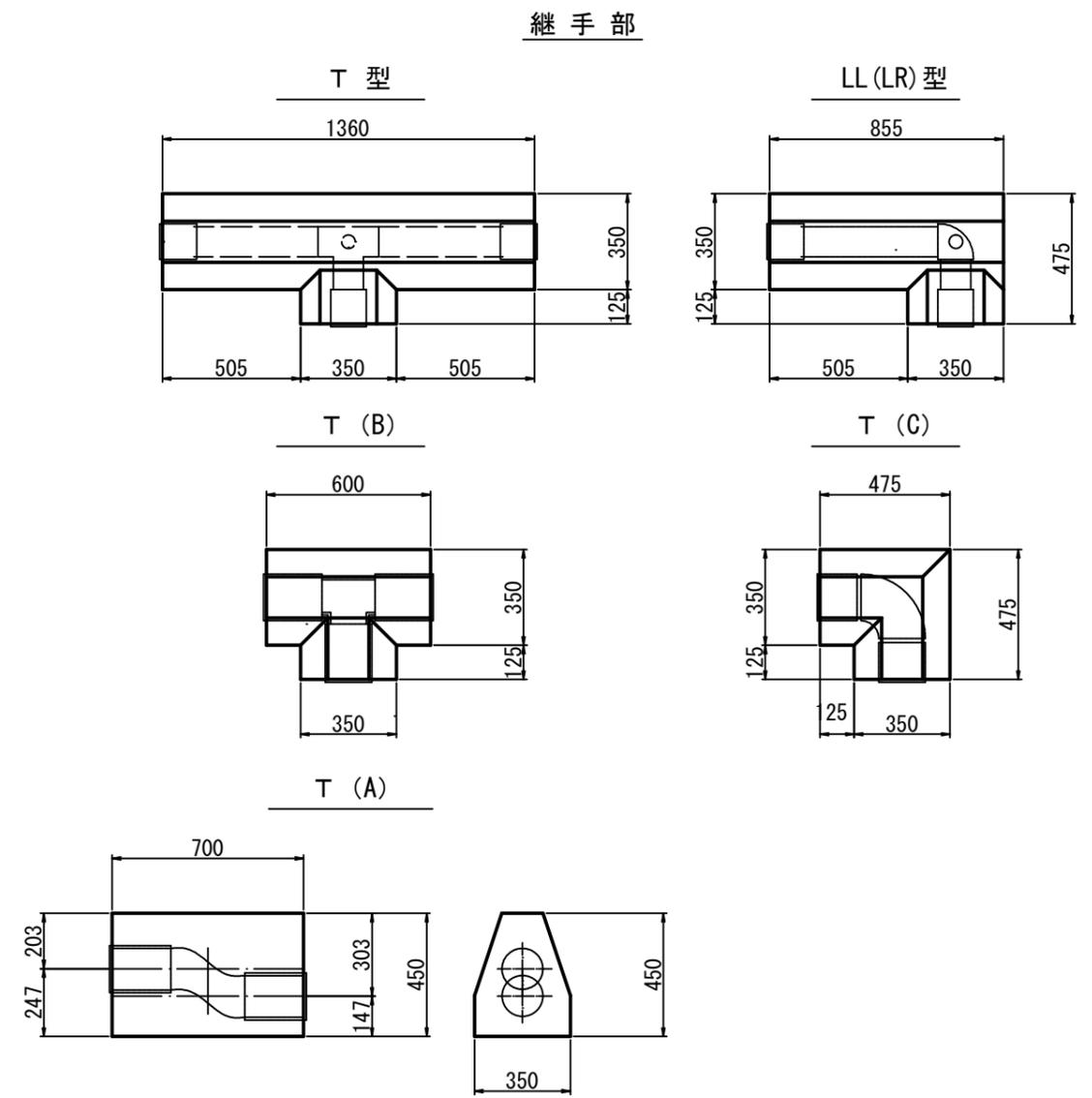
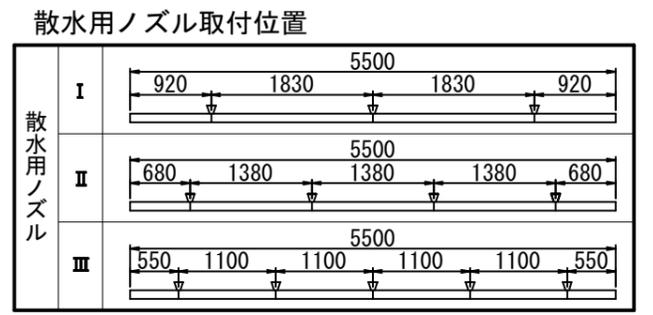
高さ	幅	長さ
±3	±3	±5



取替型
φ65~φ100の場合、k=140
φ125~φ150の場合、k=170

参考質量 (Kg)

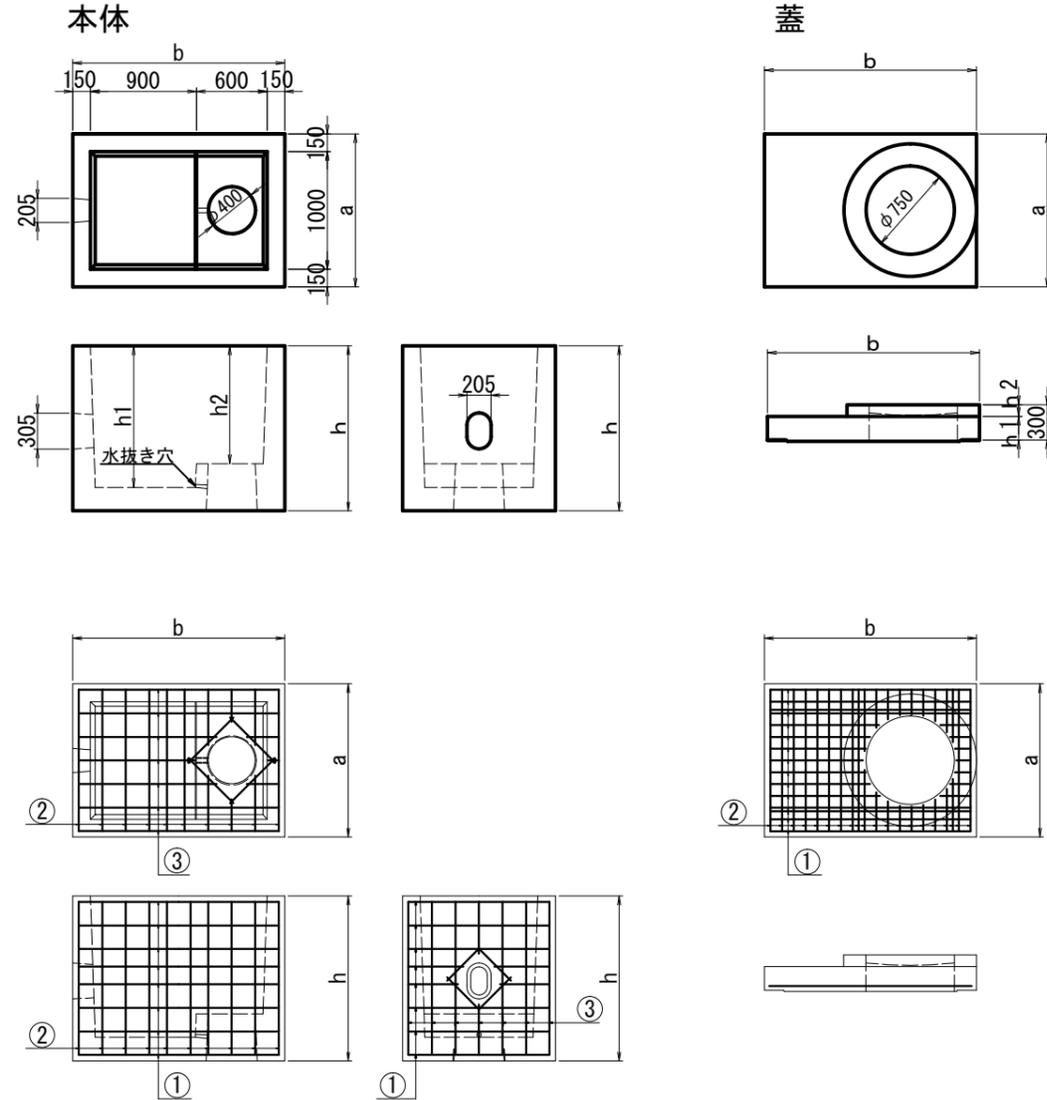
呼び名	基本型	取替型	呼び名	基本型	取替型
SGP 50A	1210	-	VP 50	1190	-
SGP 65A	1200	1160	VP 65	1165	1130
SGP 80A	1185	1145	VP 75	1150	1110
SGP100A	1150	1110	VP 100	1105	1065
SGP125A	1100	1490	VP 125	1040	1435
SGP150A	1275	1440	VP 150	1205	1365



- 特記事項
- ・詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。
 - ・シングル配管用は $\sigma_c k=40N/mm^2$ 以上、ダブル配管用は $\sigma_c k=45N/mm^2$ 以上。
 - ・鉄筋は、SD295Aとする。
 - ・継手ブロック T型, LL(LR)型, T(A), T(B), T(C)も製作可能。
 - ・吊り下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

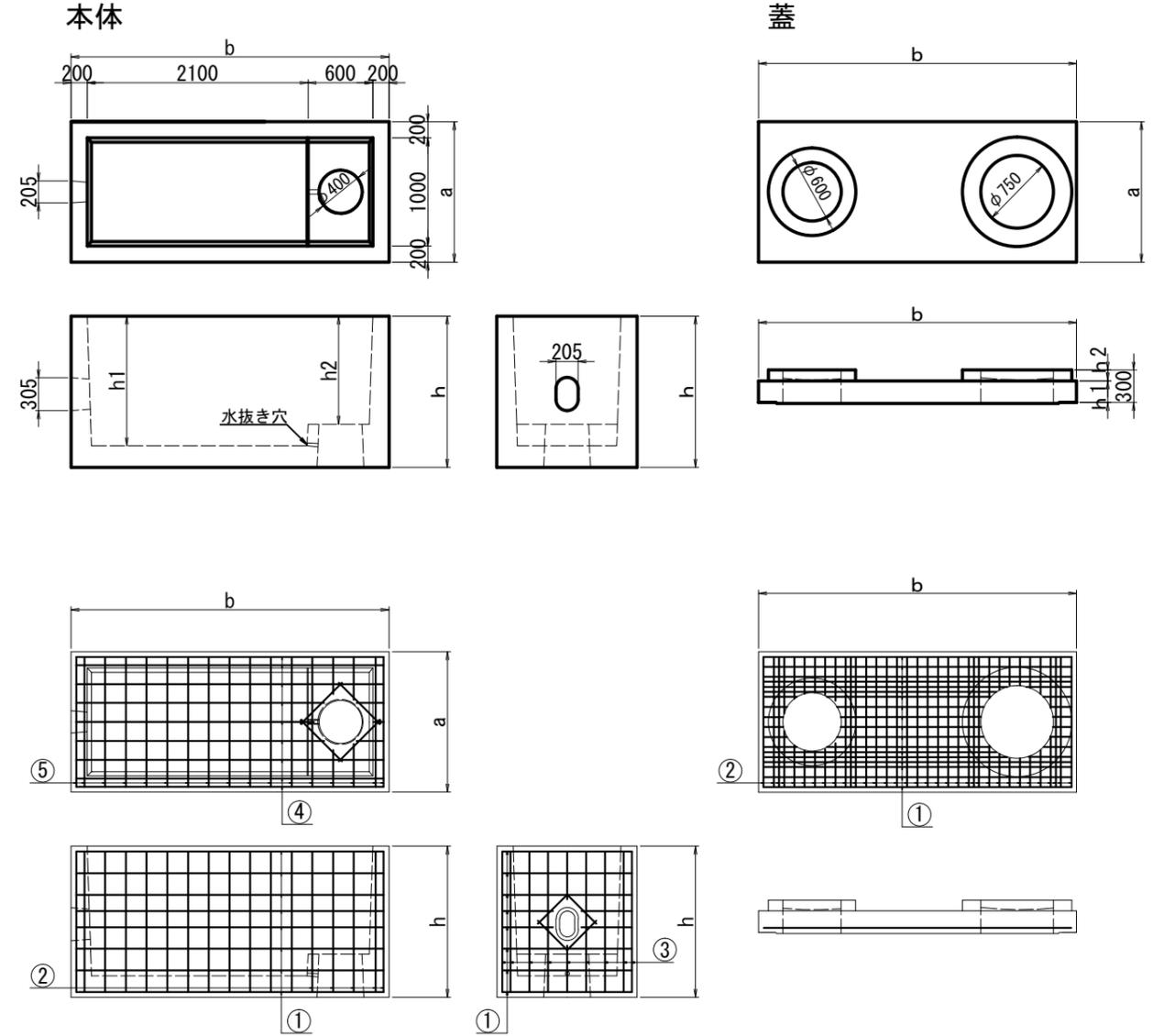
名称	消雪用ポンプ室	標準設計番号	道-VII-6
		工種記号	SMF-P1, P2 PF, P3

標準タイプ



	寸法 (mm)					鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	h	h1	h2	①		②		③		
						径	本数	径	本数	径	本数	
本体	1300	1800	1400	1200	1000	D13	8	D13	10	D13	7	3930
蓋	1300	1800	-	200	100	D13	15	D13	20	-	-	1920
許容差	±3		±5	±3		-						-

流量計併設タイプ



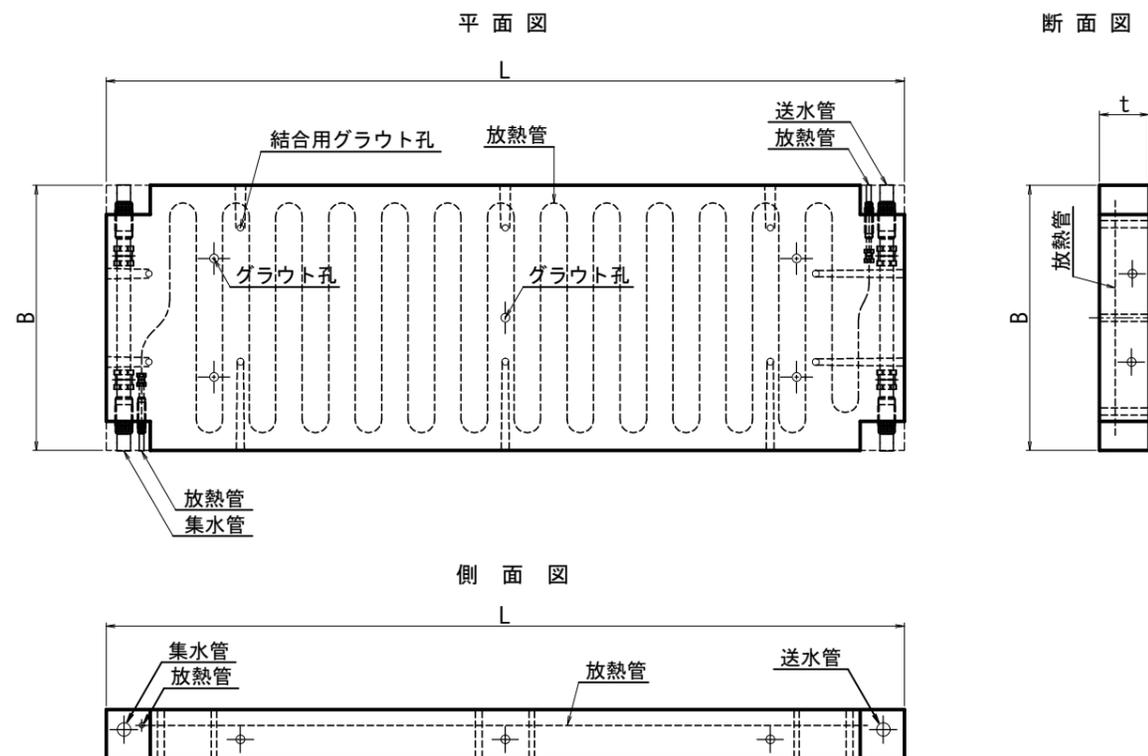
	寸法 (mm)					鉄筋										参考質量 (kg)
	a	b	h	h1	h2	①		②		③		④		⑤		
						径	本数									
本体	1400	3100	1350	1200	1000	D16	8	D16	17	D16	9	D13	9	D13	17	6300
蓋	1400	3100	-	200	100	D13	18	D13	35	-	-	-	-	-	-	2170
許容差	±3		±5	±3		-										-

特記事項

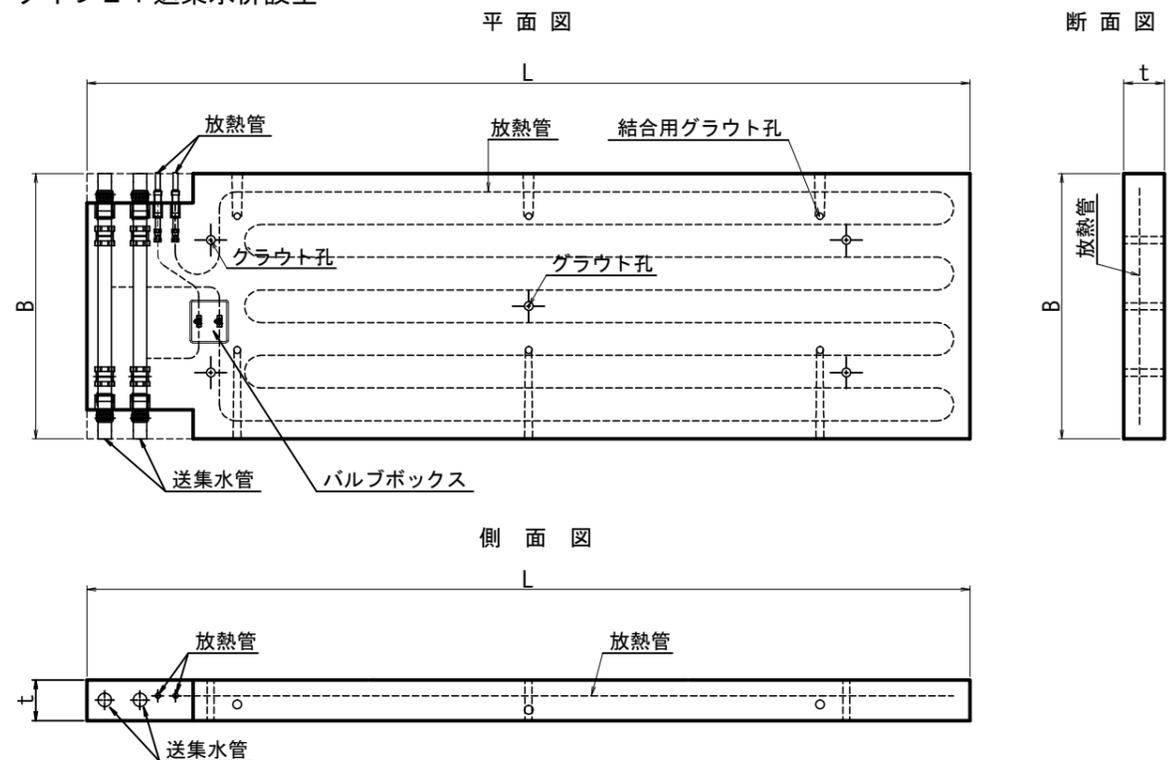
- ・詳細は、「散水消雪施設設計施工・維持管理マニュアル(散水消雪施設設計施工マニュアル編集委員会)」による。
- ・ $\sigma_c k = 30N/mm^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD345とする。

名称	融雪舗装版	標準設計番号	道-VII-9
		工種記号	URC

タイプ1：送集水分離型

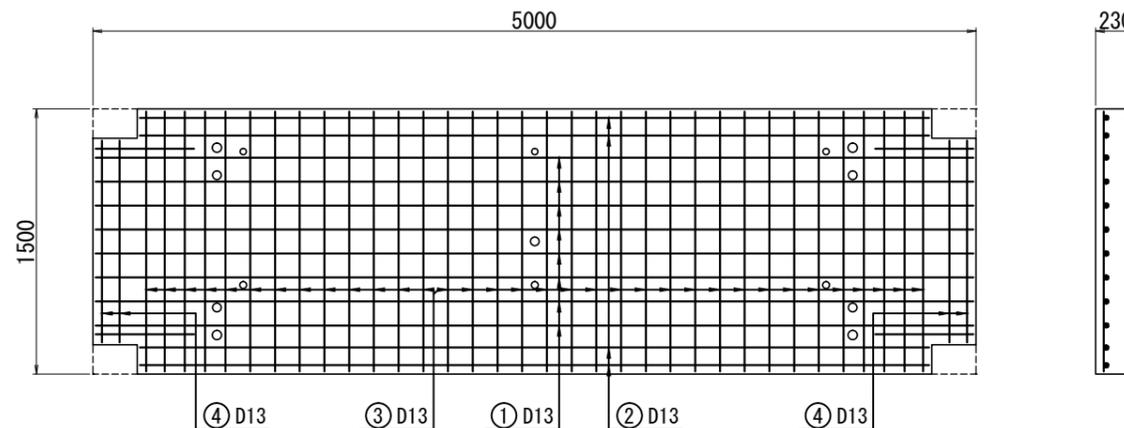


タイプ2：送集水併設型



※寸法の許容差は B, L=±5mm、t=±3mm

配筋図(参考)



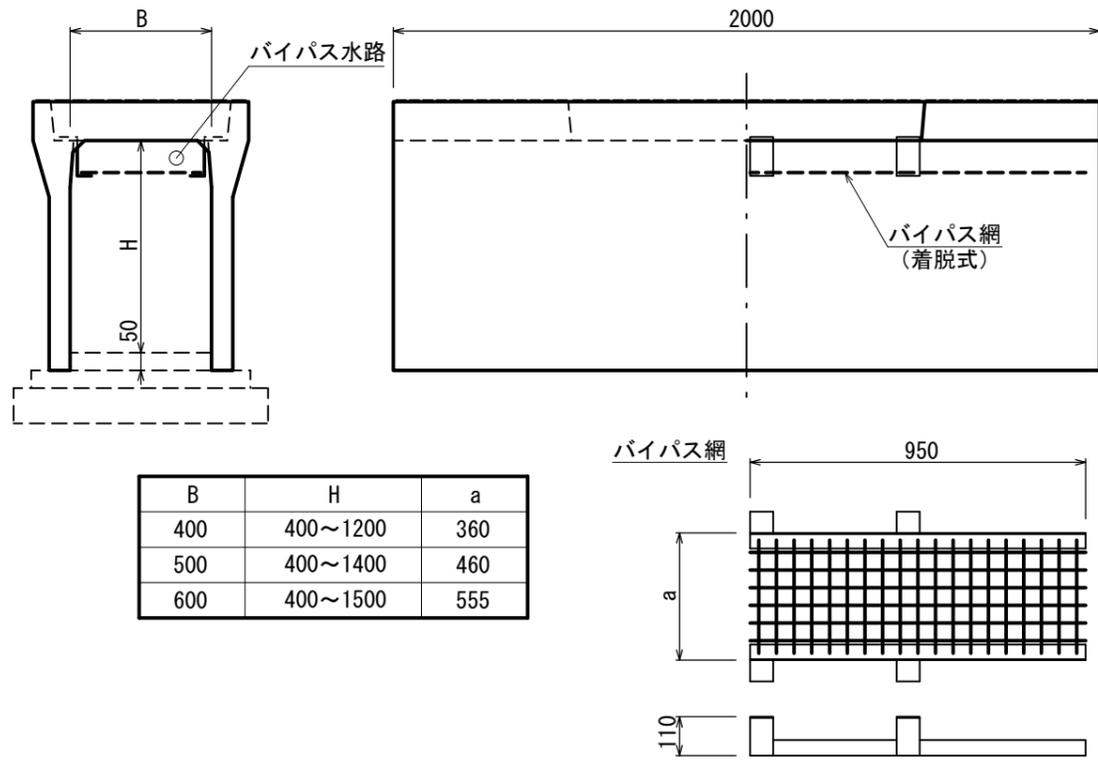
呼び名	鉄筋				適用条件(例)	
	①	②	③	④	適用場所：明かり部(温度差：大) 交通量：N6(1,000~3,000台/日・方向) 曲げ強度：5.9 N/mm ² 鉄筋比：0.51%以上	
1500×5000×230	径 本数	径 本数	径 本数	径 本数		
	D13 16	D13 8	D13 68	D13 8		

特記事項

- ・詳細は、「リバーシブル型・融雪配管埋設型プレキャストRC版舗装 設計施工マニュアル(プレキャストRC版舗装協会)」を参考にするものとする。
- ・形状寸法、配筋、放熱管配置形状は物件ごとに異なる。
- ・曲げ強度=5.9N/mm²以上。(歩道の場合は、σ_{ck}=30N/mm²以上。)
- ・鉄筋はSD295Aとする。
- ・必要に応じて結合用グラウト孔を設ける。
- ・隅部は切欠きのない製品もある。
- ・版厚、配筋については、適用条件(交通量・温度差等)により決定する。

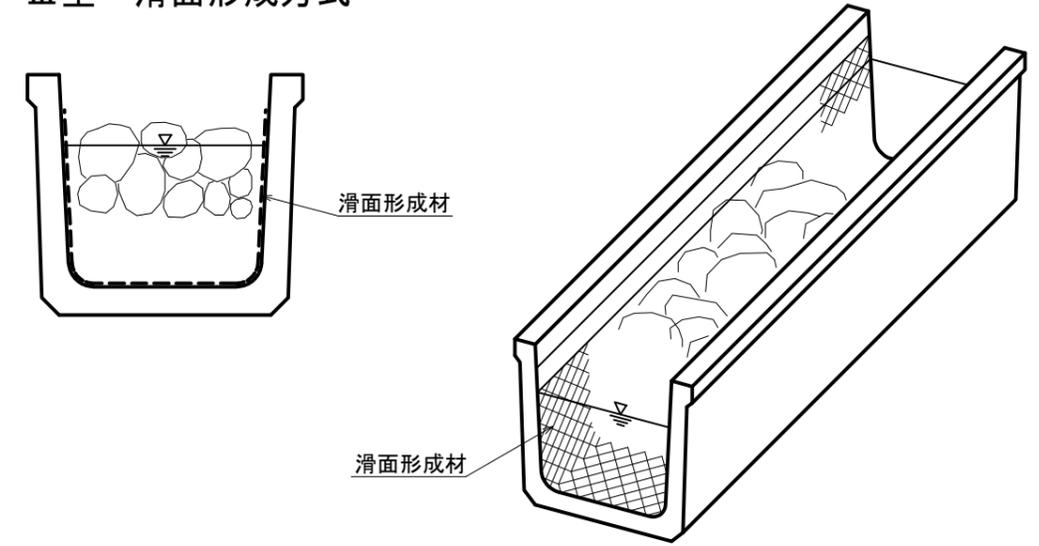
名称	流雪溝	標準設計番号	—
		工種番号	—

I型 上部バイパス方式



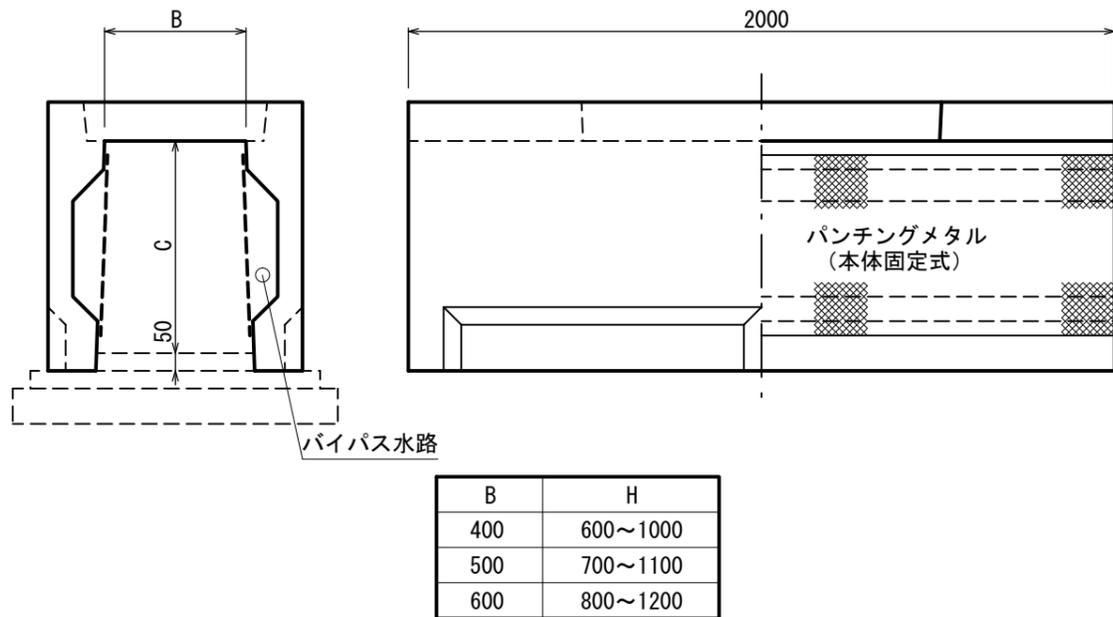
B	H	a
400	400~1200	360
500	400~1400	460
600	400~1500	555

Ⅲ型 滑面形成方式



分類	工法	材質
塗装型	ミゼロン塗装流雪溝	超厚膜型ポリウレタン樹脂塗料
樹脂型	FRP工法	繊維強化プラスチック

Ⅱ型 横バイパス方式

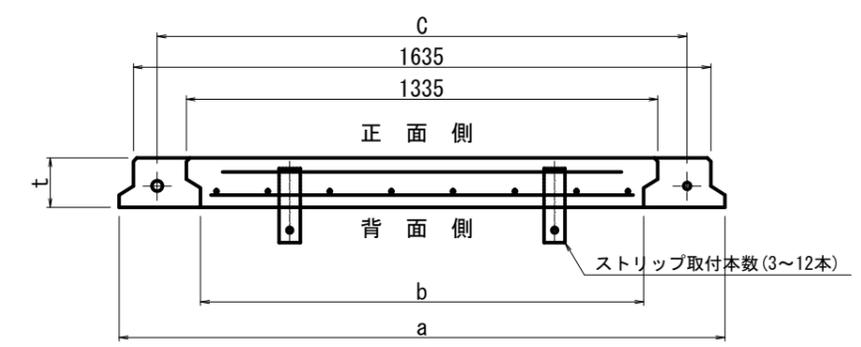
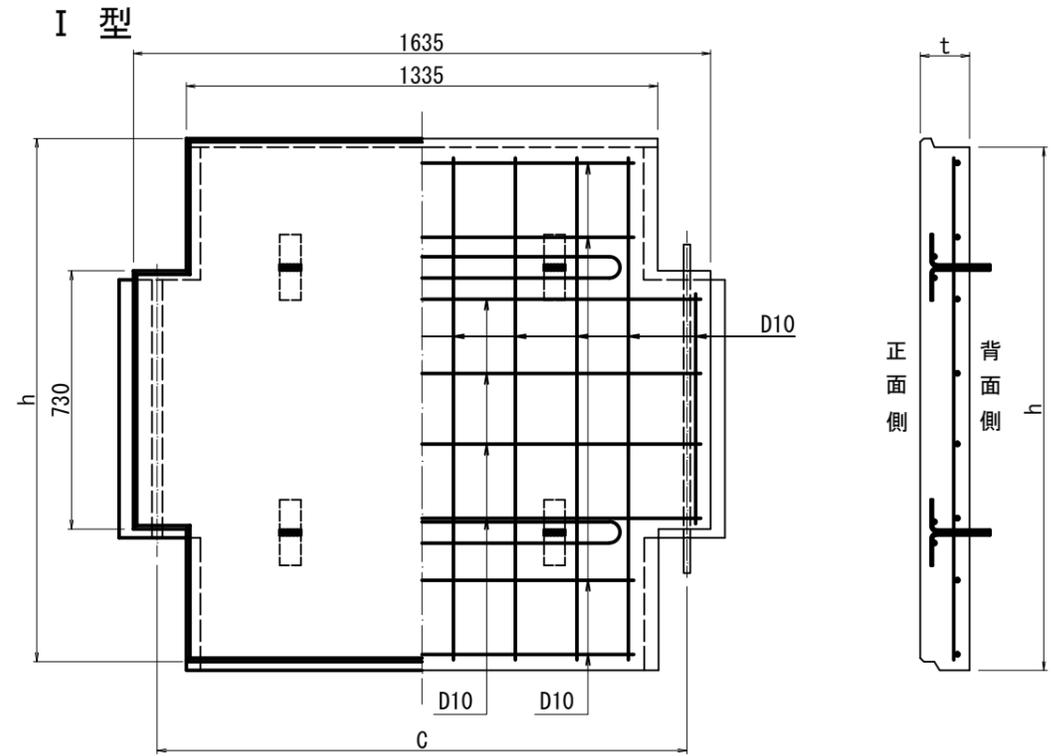


B	H
400	600~1000
500	700~1100
600	800~1200

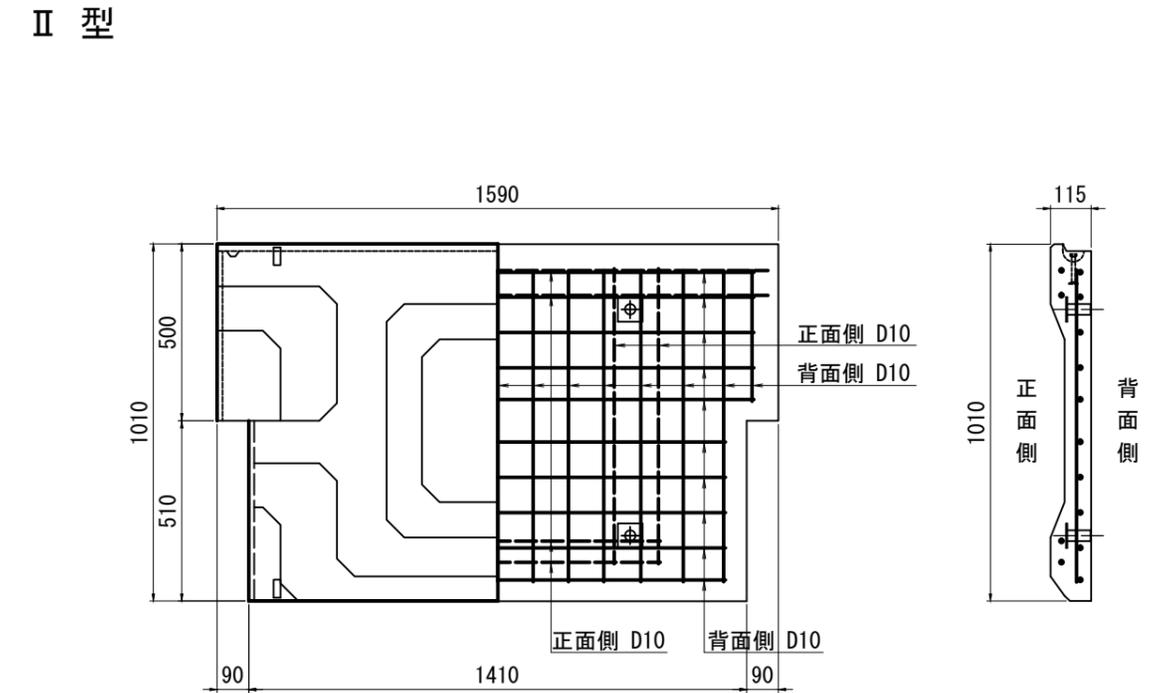
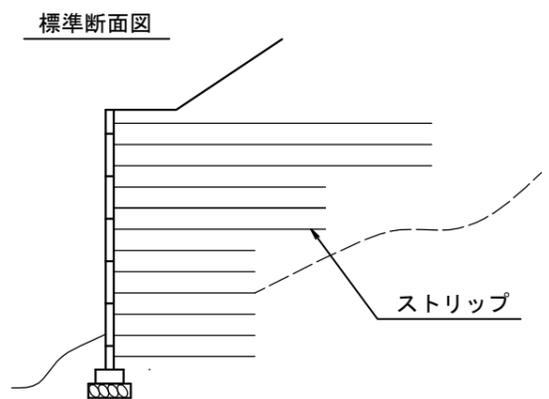
特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 及び JIS A 3532 に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線とする。
- ・ 設計にあたっては、「流雪溝設計運営要領（建設省北陸地方建設局 1983）」、「道路防雪便覧（（社）日本道路協会 平成2年5月）」を参照のこと。
- ・ I、II型の本体規格は、「自由勾配側溝」の設計資料を準用。
- ・ III型の本体規格は、「U型溝」「道路用側溝」の設計資料を準用。
- ・ III型は、製品に滑面形成材を施した製品。
- ・ 一般的な蓋版として、コンクリート蓋、グレーチング蓋（鋼製格子蓋）、鋼製蓋（縞鋼板、パンチングメタル等）があり、安全性、耐久性、開閉の難易、及び使用場所などに応じて選択すること。
- ・ 投入口には、転落防止用鋼製十字柵を設けるものとする。

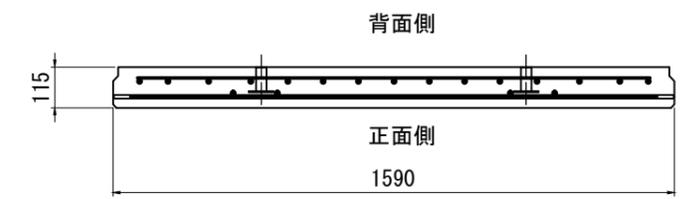
名称	補強土壁ブロック	標準設計番号	-
		工種記号	-



タイプ	寸法 (mm)					参考質量 (kg)
	c	a	b	h	t	
I-1	1500	1715	1255	1480	140	790
I-2		1695				740
許容差		±5				-

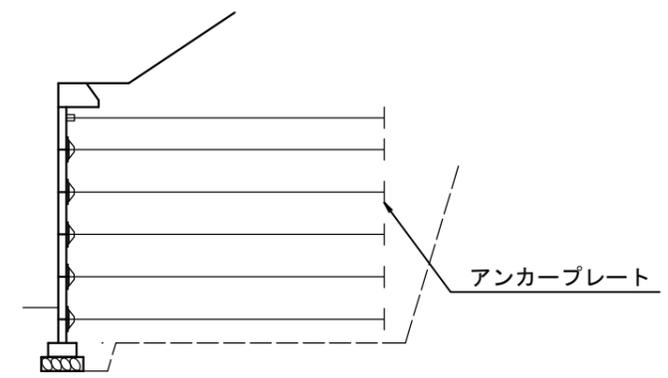


※配筋図はα壁面材を示す。

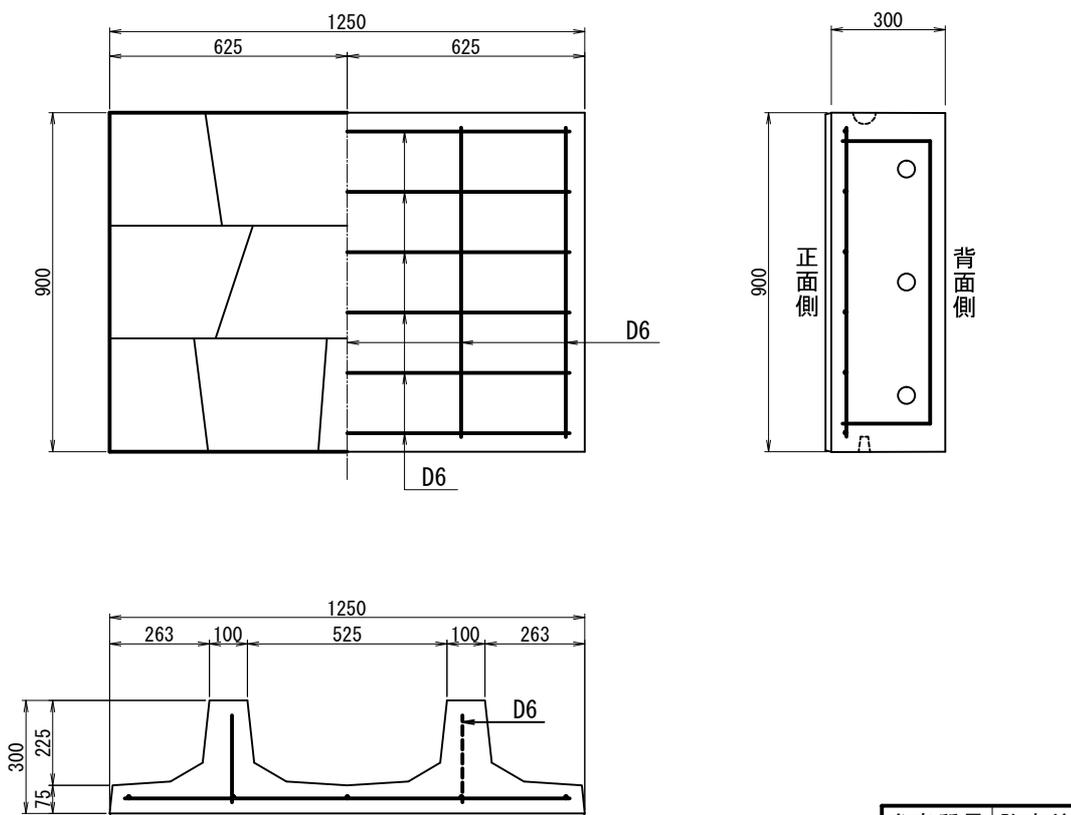


参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図

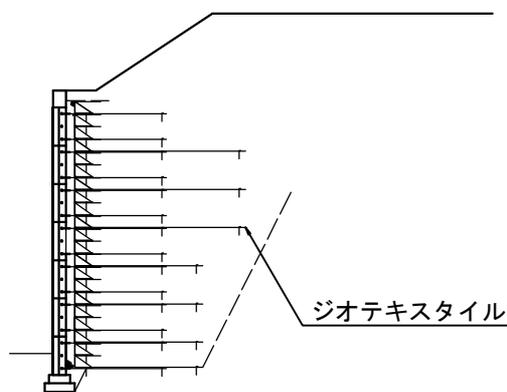


Ⅲ 型



参考質量	許容差
350kg	±5mm

標準断面図

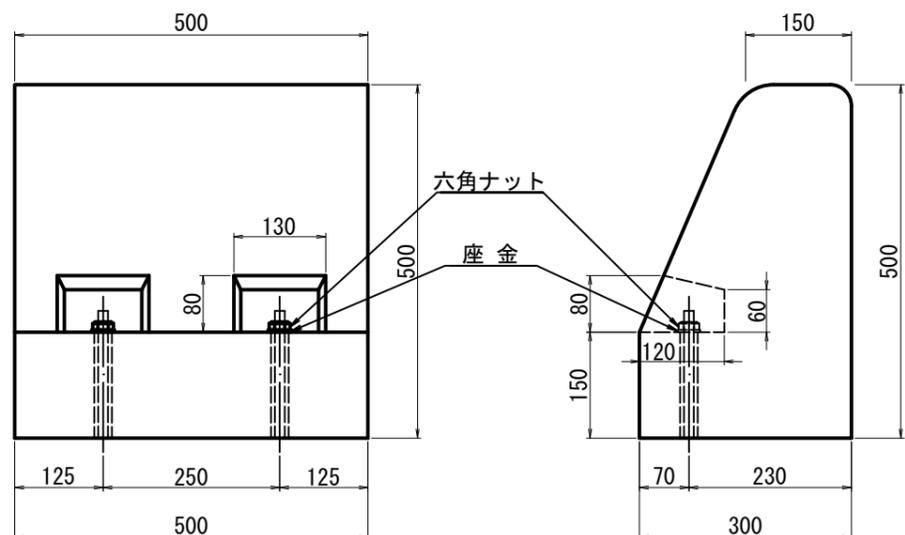


特記事項

- ・ 詳細は、Ⅰ型(テールアルメ)については「補強土(テールアルメ)壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ Ⅱ型(多数アンカー)については、「多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。
- ・ Ⅲ型については、「アダムウォール(補強土壁)工法 設計・施工マニュアル(一般財団法人 土木研究センター)」による。

名称	駒止めブロック	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型

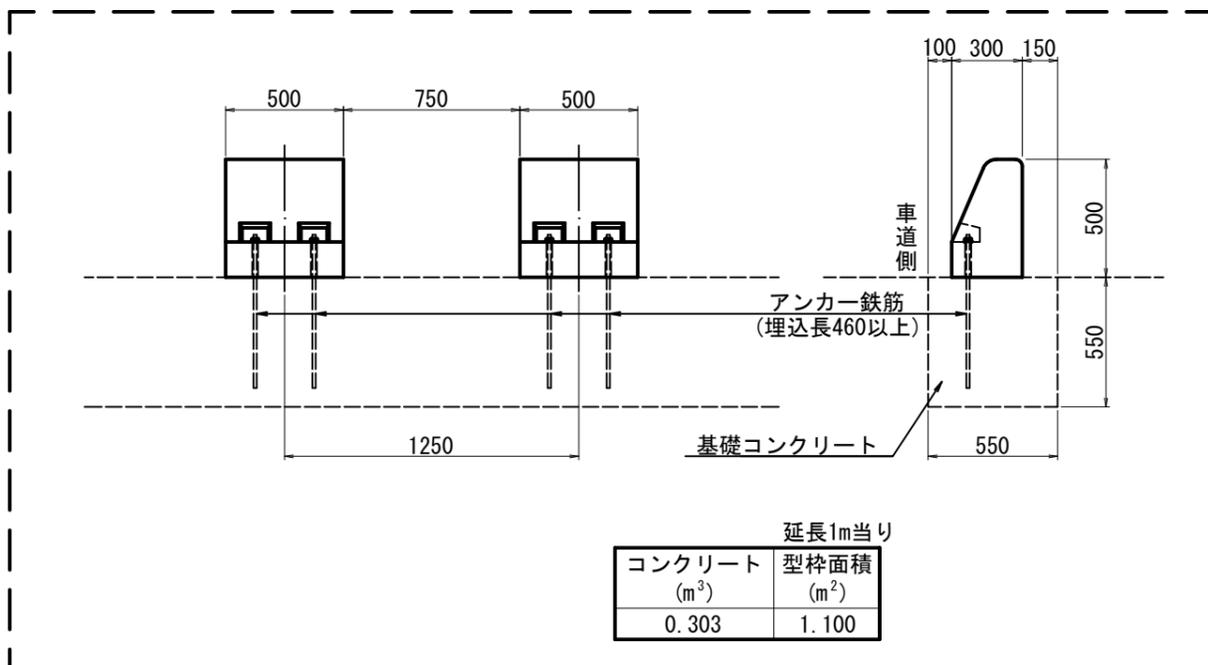


参考質量 (kg)
137

寸法許容差

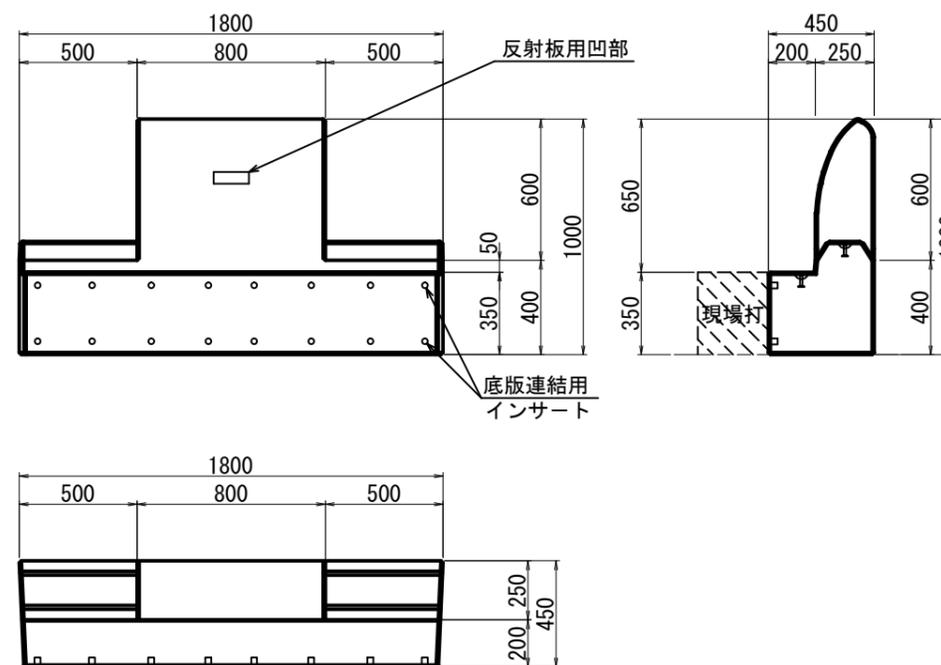
幅	高さ	長さ
±3	±3	±3

参考図表



延長1m当り	
コンクリート (m ³)	型枠面積 (m ²)
0.303	1.100

II 型 (耐雪型)

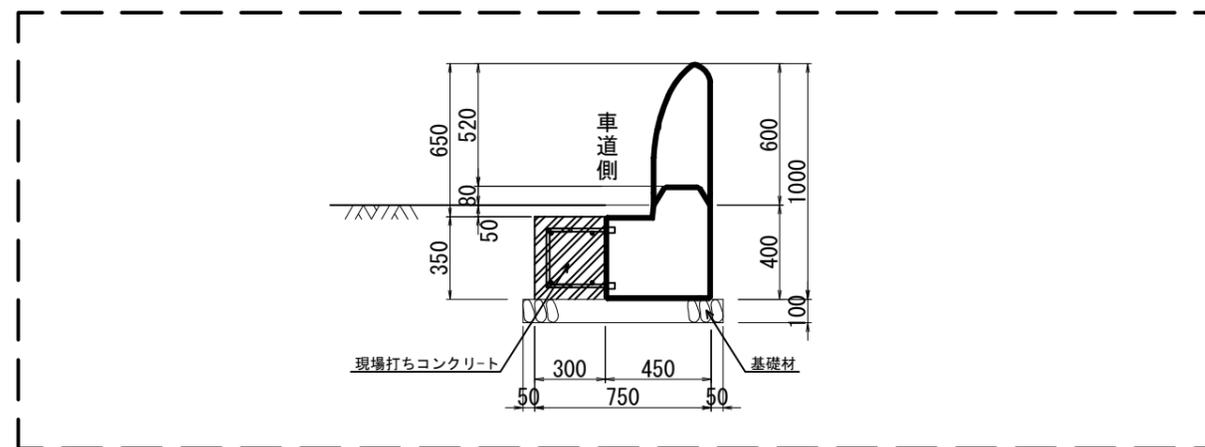


参考質量 (kg)
1054

寸法許容差

幅	高さ	長さ
±3	±5	±5

参考図表



名称

ガードレール基礎

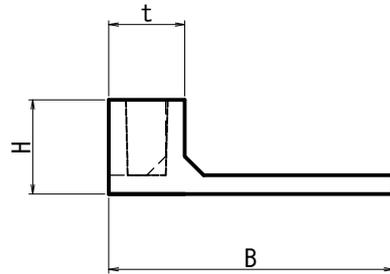
標準設計番号

-

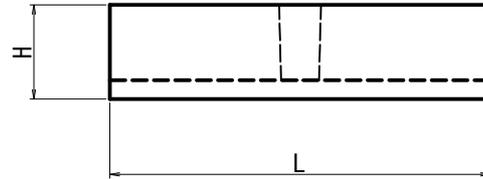
工種記号

-

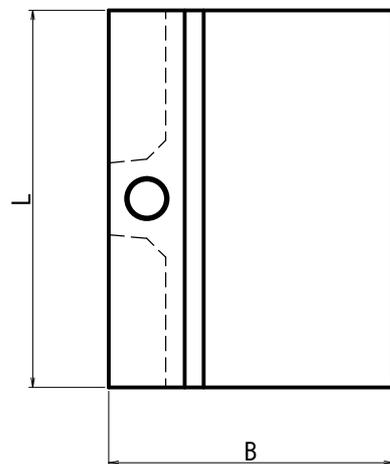
側 図



正 面



平面図



防護柵の 種別	寸 法 (mm)				支 柱 間 隔 (mm)	参 考 質 量 (kg)
	t	H	B	L		
A種~B, C種	300~400	480~700	800~2000	2000 (3000)	2000~4000	630~2235
許容差	—	±3		+5, -3	—	—

特記事項

- ・詳細は、「道路土工—擁壁工指針（社団法人 日本道路協会）」及び「車両用防護柵標準仕様・同解説（社団法人 日本道路協会）」、「積雪地におけるプレキャスト防護柵要領（北陸土木コンクリート製品技術協会）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋は、SD295Aとする。
- ・ガードレール基礎ブロックは、連結構造とする。

名称

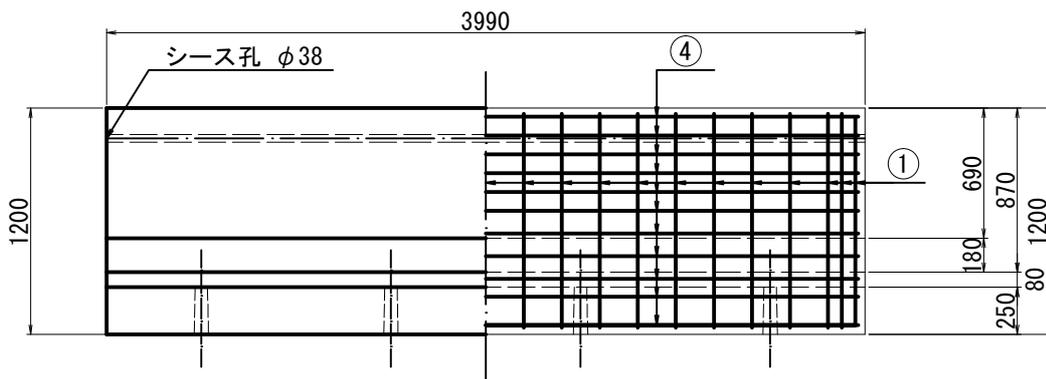
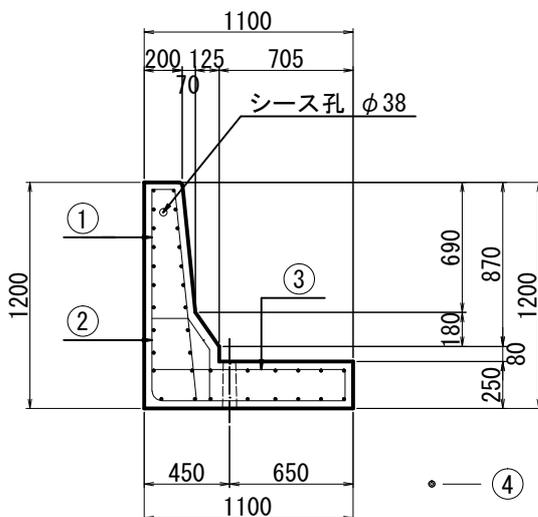
プレキャスト壁型防護柵

標準設計番号

-

工種記号

-



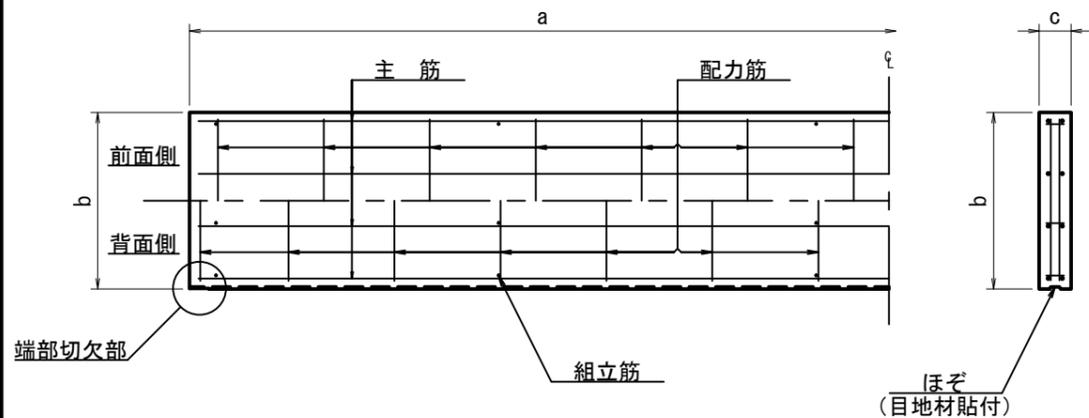
種別	許容差 (mm)			鉄筋								参考質量 (kg)
	高さ (H)	幅 (B)	長さ (L)	①		②		③		④		
				径	本数	径	本数	径	本数	径	本数	
SB	+5, -3	+5, -3	+6, -3	D13	23	D13	23	D13	23	D13	34	5270

特記事項

- ・ 詳細は、「防護柵の設置基準・同解説(社団法人 日本道路協会)」, 「車両用防護柵標準仕様・同解説(社団法人 日本道路協会)」および「積雪地におけるプレキャストコンクリート防護柵要領(北陸土木コンクリート製品技術協会)」による。
- ・ $\sigma_{ck}=35N/mm^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は SD295A 以上とする。
- ・ 製品長は3.990mを標準とする。ただし平面曲線半径が小さい場合2.990mとする。
- ・ 各製品をPC鋼より線1T21.8(アンボンド処理)により緊張し連結する。

名称	遮音壁	標準設計番号	—
		工種記号	—

遮音板

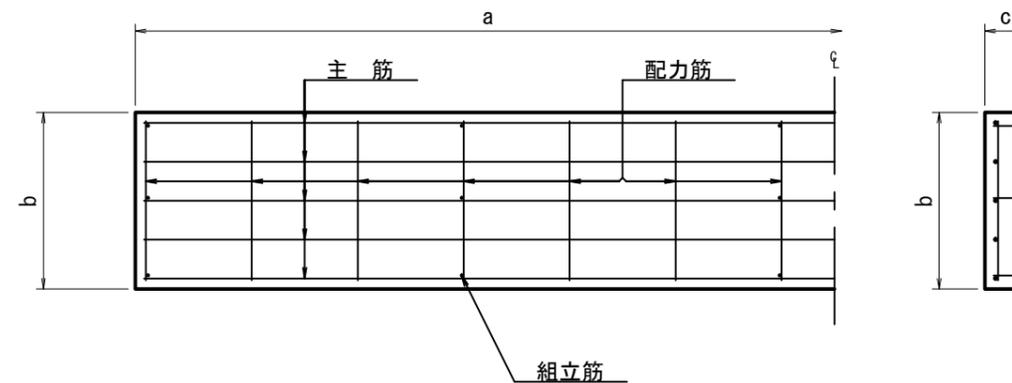


端部切欠形状

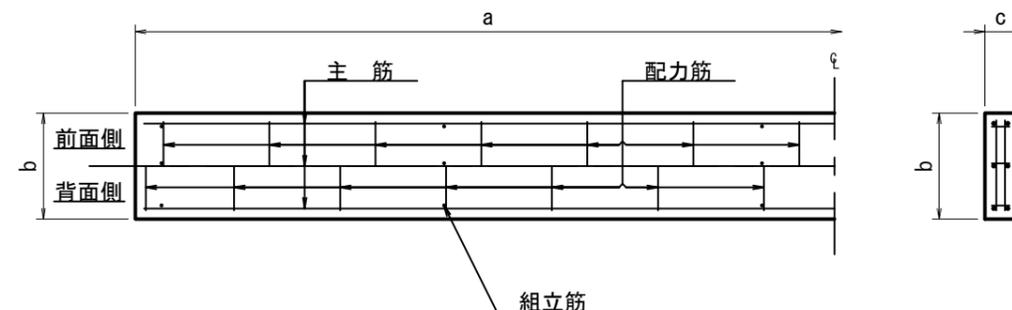


項目	寸法 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	c	主筋		配力筋		組立筋		
				径	本数	径	本数	径	本数	
遮音板	3960	500	90	D10	8	D6	28	D6	18	427
許容差	±4	±3	±3	—	—	—	—	—	—	—

土留板



保護路肩部土留板



項目	寸法 (mm)			鉄筋						参考質量 (kg)
	a	b	c	主筋		配力筋		組立筋		
				径	本数	径	本数	径	本数	
土留板	3960	500	120	D10	10	D6	28	D6	18	570
保護路肩部土留板	3960	300	90	D10	6	D6	28	D6	18	257
許容差	±4	±3	±3	—	—	—	—	—	—	—

特記事項

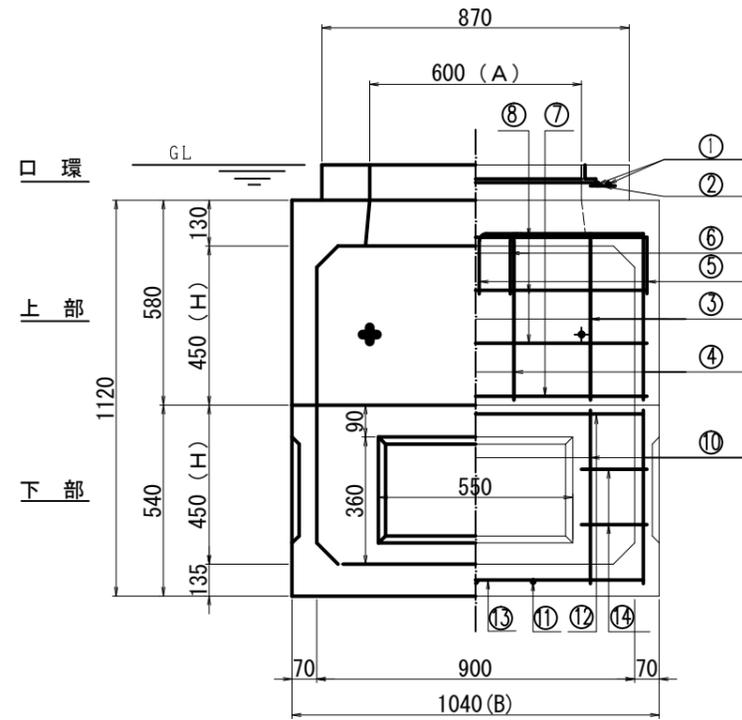
- ・詳細は「遮音壁標準設計図集（東・中・西日本高速道路株）」による。
- ・ $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・鉄筋はSD295Aとする。
- ・板厚90mmの土留板は遮音板と同様の型式（ほぞ有り）としても良い。
この場合目地材は用いない。

名称	情報ボックス(ハンドホール)	標準設計番号	道-VIII-1
		工種記号	HCM

ハンドホールA

ハンドホールB

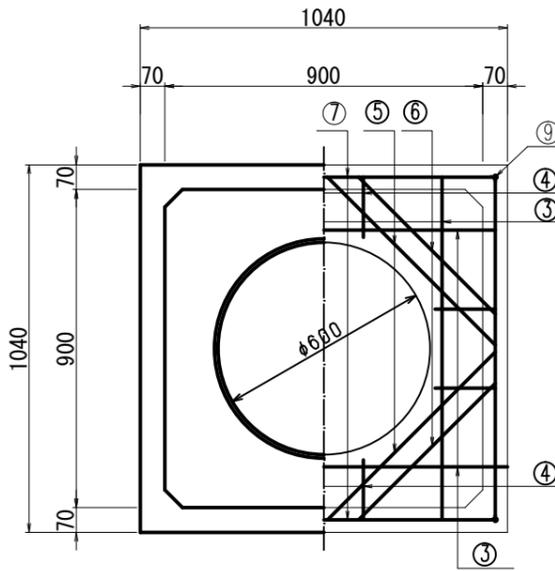
組立図



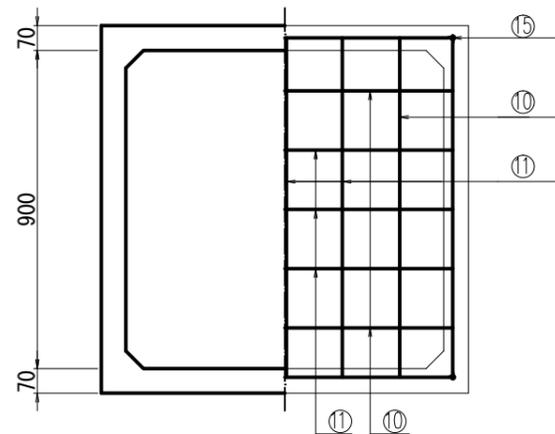
参考質量	上部	530kg
	下部	550kg
許容差	A・B・H	±3mm

番号	径	本数
①	D10	2
②	φ5	8
③	D10	4
④	D10	8
⑤	D13	4
⑥	D13	4
⑦	D13	1
⑧	D10	3
⑨	D10	4
⑩	D10	4
⑪	D10	6
⑫	D13	1
⑬	D10	1
⑭	D10	8
⑮	D10	4

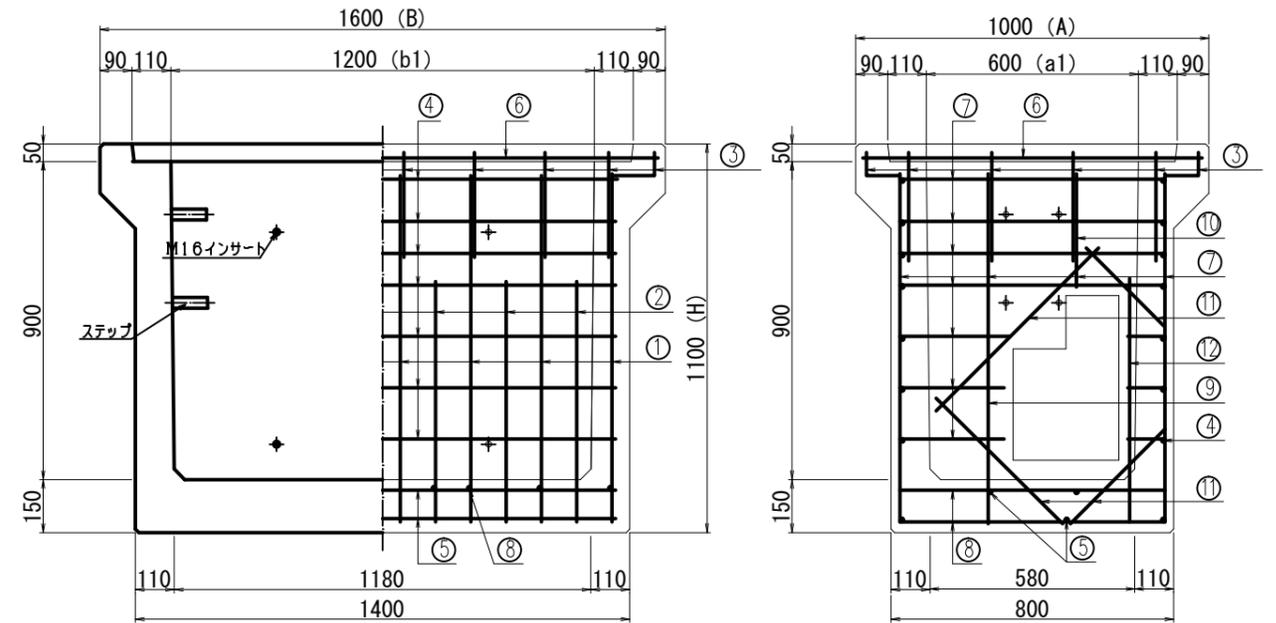
上部平面図



下部平面図



ハンドホールB



参考質量	1530kg
許容差	A・a1・B・b1・H ±3mm

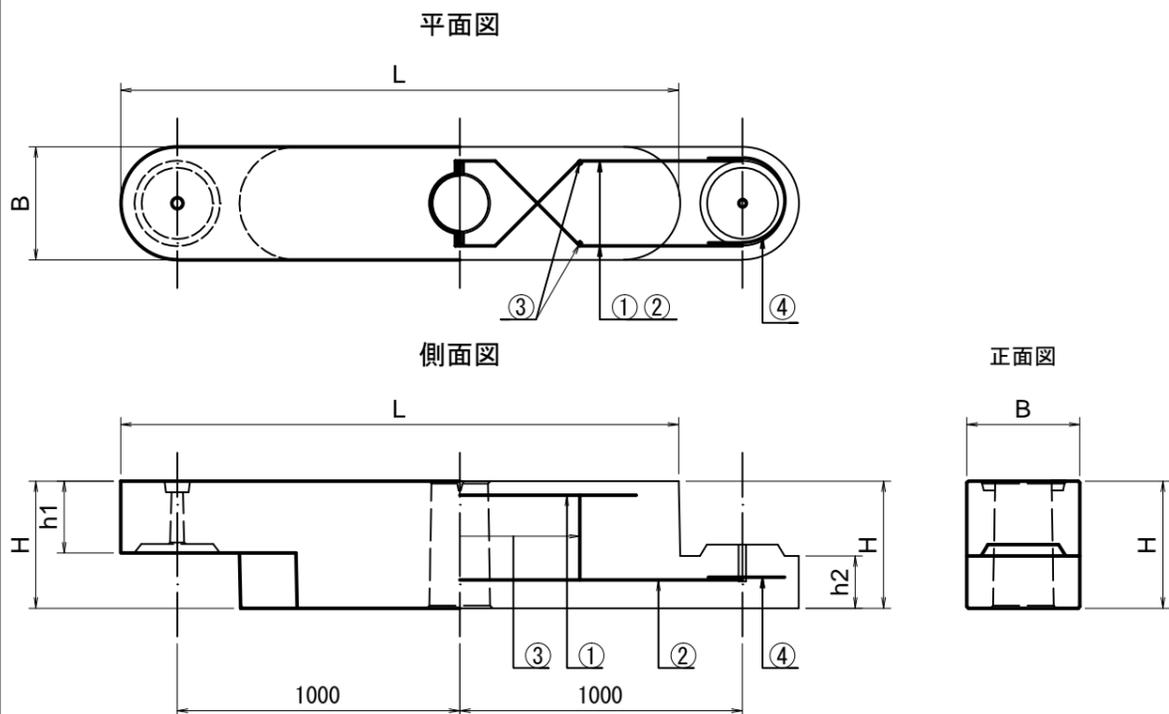
番号	径	本数
①	D10	8
②	D10	6
③	D10	24
④	D10	14
⑤	D10	7
⑥	D10	1
⑦	D10	14
⑧	D10	8
⑨	D10	2
⑩	D10	2
⑪	D10	8
⑫	D10	2

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 3 \text{ ON/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋はSD295A及びJIS A 3532に規定する普通鉄線又はコンクリート用鉄線（円形）とする。
- ・ 吊り下げ孔を設けるなど施工に配慮することができる。
- ・ 製品間の接合としてパッキン等を使用することができる。

名称	置き式防護柵基礎	標準設計番号	—
		工種記号	—

I 型



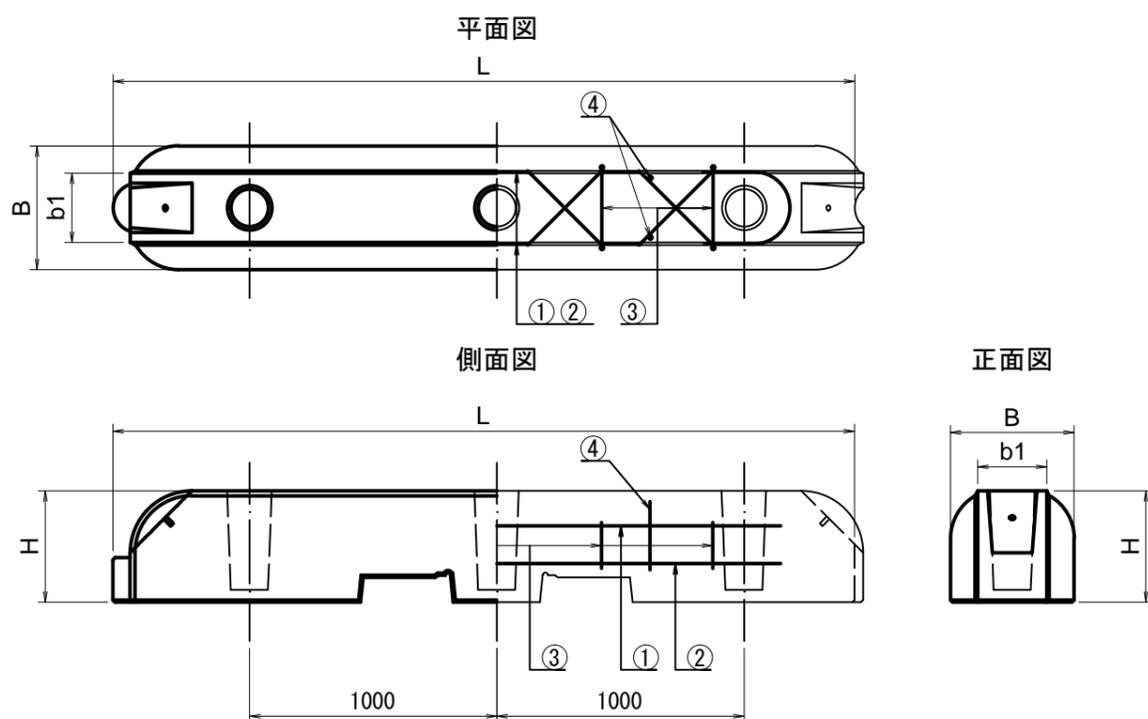
I 型

呼び名	寸法 (mm)					鉄筋								参考質量 (kg)
	B	H	h1	h2	L	①		②		③		④		
I-A	630	450	255	185	1965	D13	2	D13	2	D6	4	D6	2	1202
I-B	400	450	255	185	1975	D13	2	D13	2	D6	4	D6	2	778
許容差	±3				±6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

II 型

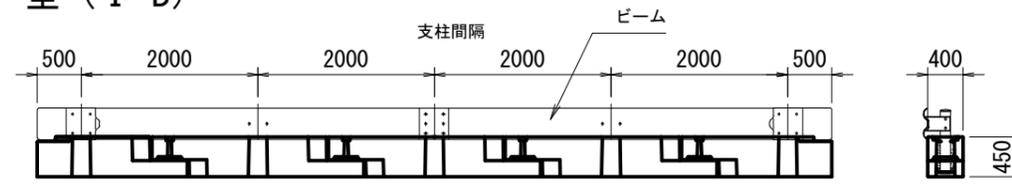
呼び名	寸法 (mm)				鉄筋								参考質量 (kg)
	B	H	b1	L	①		②		③		④		
II-A	600	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1530
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	1010
				1000	D13	2	D13	2	-	-	D10	4	440
II-B	500	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1280
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	850
				1000	D13	2	D13	2	-	-	D10	4	370
II-C	400	450	280	3000	D13	2	D13	2	D13	4	D10	4	1050
				2000	D13	2	D13	2	D13	2	D10	4	700
				1000	D13	2	D13	2	-	-	D10	4	310
許容差	±3			±6	-	-	-	-	-	-	-	-	-

II 型

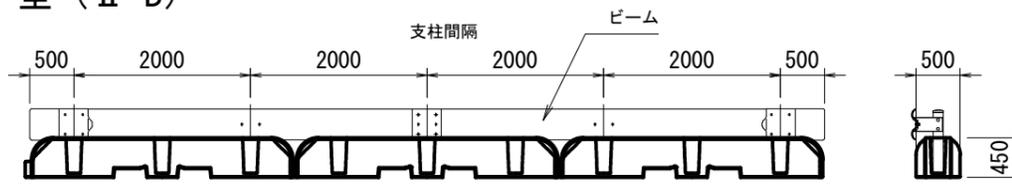


参考図表

I 型 (I-B)



II 型 (II-B)



最小連結長一覧表 (安全率1.5)

I 型			
衝突条件	A種	B種	C種
衝突荷重	55kN	30kN	
I-A	26m	14m	14m
I-B	-	33m	34m

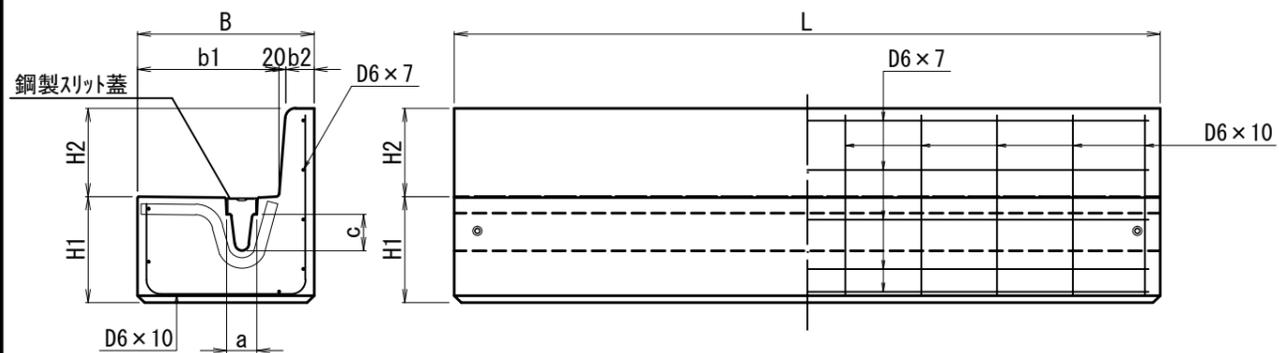
II 型			
衝突条件	A種	B種	C種
衝突荷重	55kN	30kN	
II-A	32m	18m	18m
II-B	44m	25m	25m
II-C	65m	38m	38m

特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ 鉄筋は、SD295AまたはSD345とする。

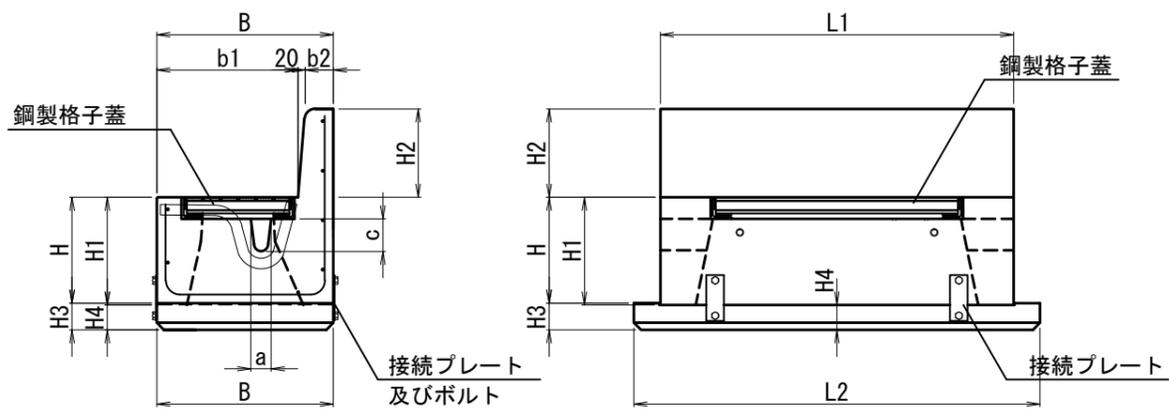
名称	トンネル用路面排水側溝	標準設計番号	—
		工種記号	—

側溝



項目	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
呼び名	B	H1	H2	L	a	b1	b2	c	
側溝	500	300	250	2000	85	400	80	103	752
許容差	+5, -3	+5, -3	+5, -3	±5	±3	±3	±3	±3	—

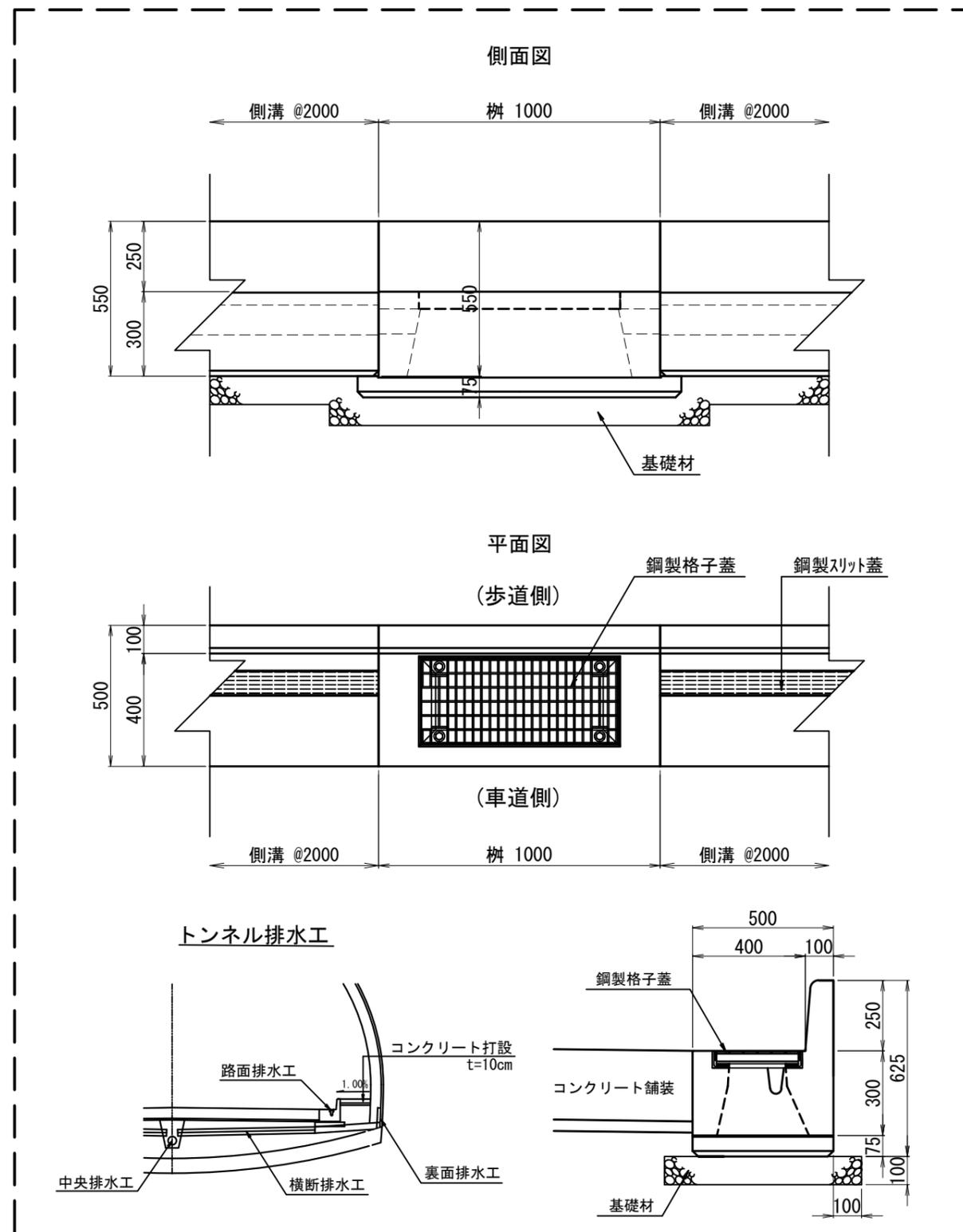
柵



項目	寸法 (mm)								
呼び名	B	H	H1	H2	L1	a	b1	b2	c
柵	500	300	305	250	1000	58	400	80	105
許容差	+5, -3	+5, -3	+5, -3	+5, -3	±5	±3	±3	±3	±3

項目	寸法 (mm)			参考質量 (kg)
呼び名	H3	H4	L2	
柵	75	70	1000	380
許容差	±3	±3	±5	—

参考図表

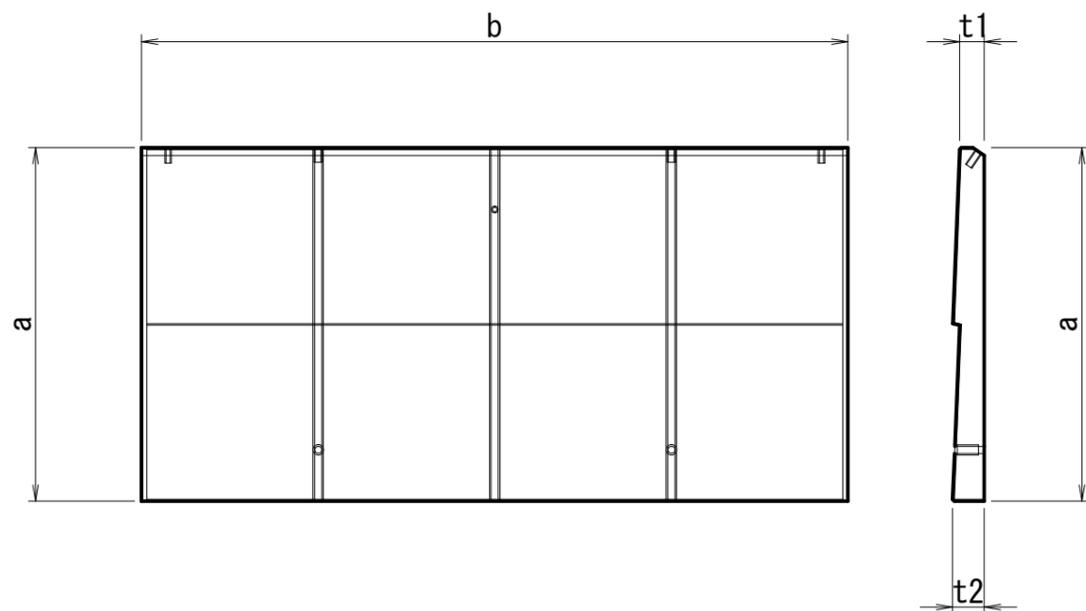


特記事項

- ・ $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ タイヤの接地面には、すべり止めを設けることができる。
- ・ 柵の組立ては、接続プレート及びボルトにより接合する。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することができる。
- ・ 鉄筋は、SD295Aとする。

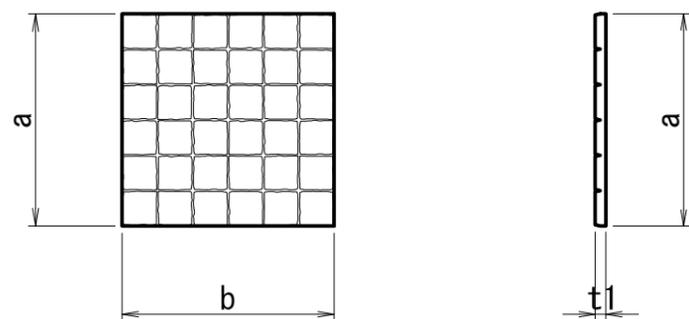
名称	のり面防草パネル		標準設計番号	—
			工種記号	—

I 型



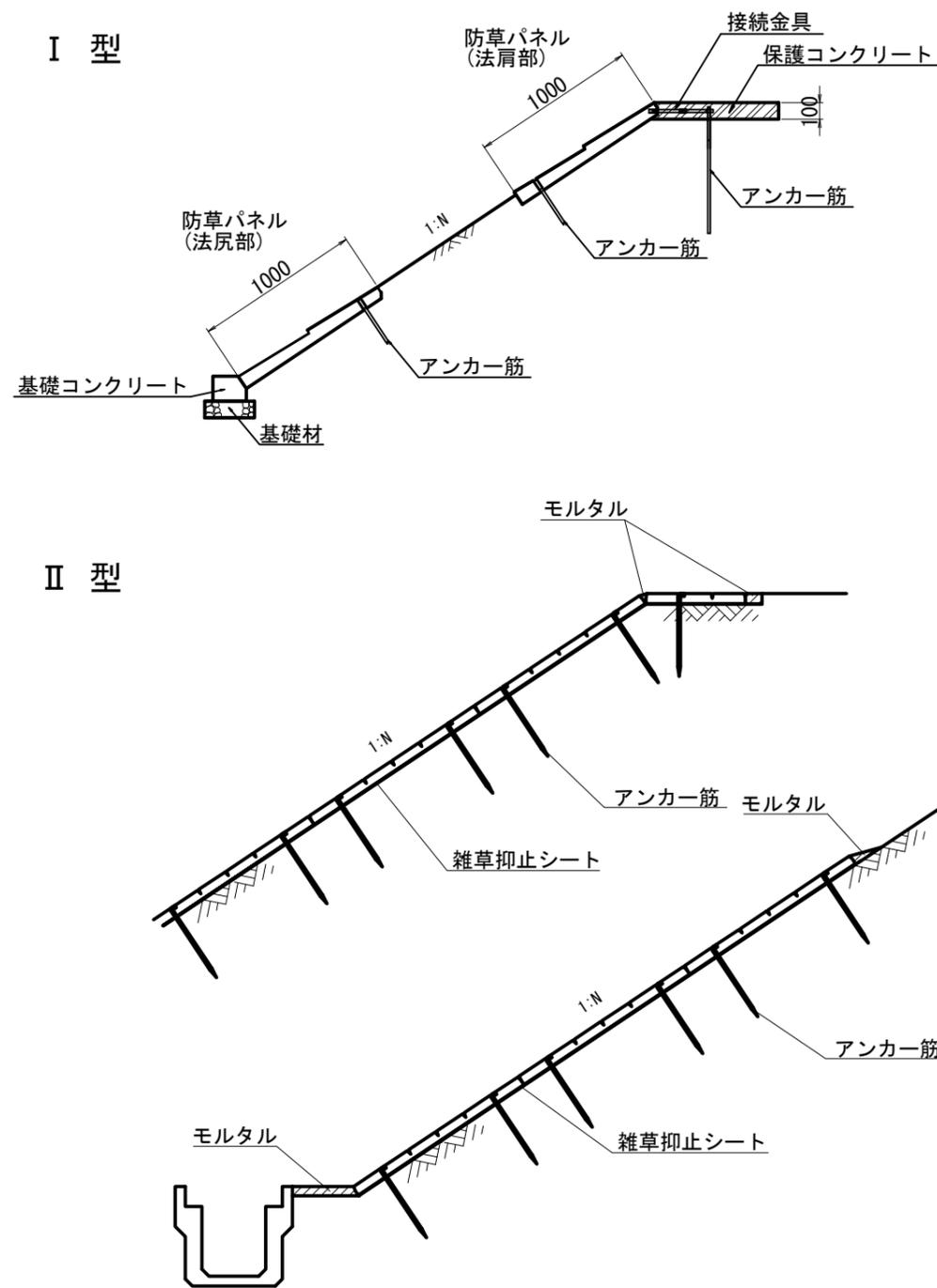
呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	t1	t2	
I 型	1000	2000	70	90	375
許容差	±3	±3	±2	±2	-

II 型



呼び名	寸法 (mm)				参考質量 (kg)
	a	b	t1	t2	
II 型	600	600	30	-	24
許容差	±5	±5	±3	±3	-

参考図表

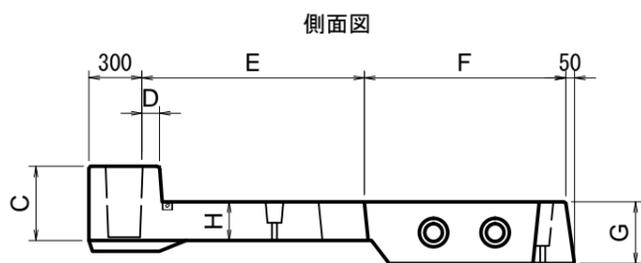
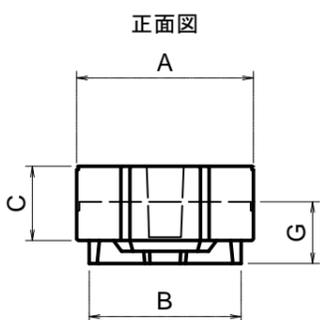
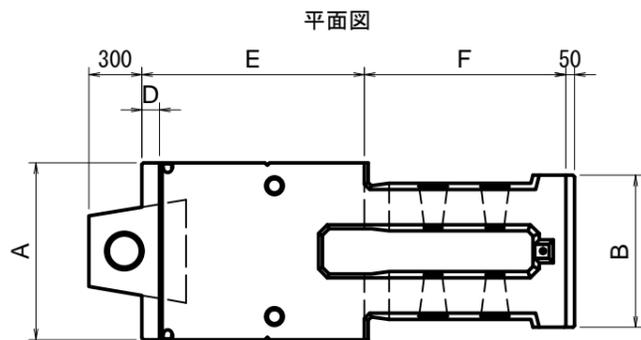


特記事項

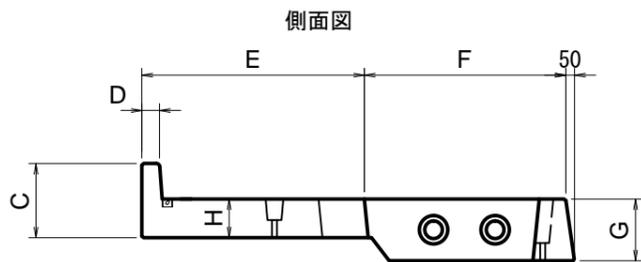
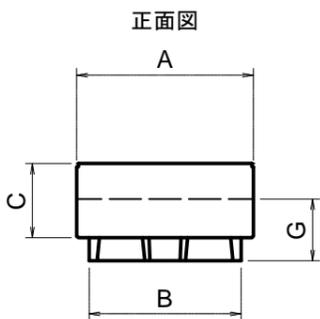
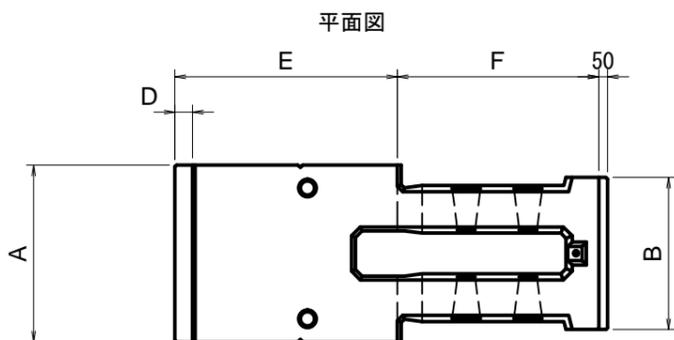
- ・ I 型は $\sigma_{ck} = 30\text{N/mm}^2$ 以上、II 型は $\sigma_{ck} = 18\text{N/mm}^2$ 以上。
- ・ つり下げ孔を設ける等、施工に配慮することが出来る。

名称	張出式車道拡幅ブロック	標準設計番号	—
		工種記号	—

Pタイプ (ポスト・支柱取付用)



Fタイプ (フラット)

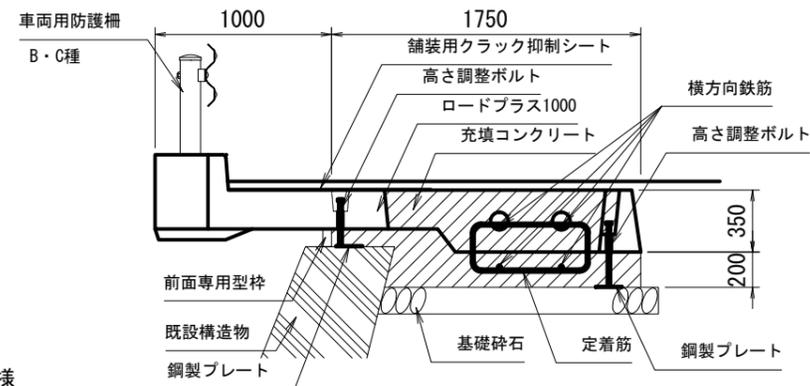


張出幅	タイプ	寸法 (mm)								参考質量 (kg)
		A	B	C	D	E	F	G	H	
1000	Pタイプ	1000	860	420	100	1260	1140	350	220	1355
	Fタイプ	1000	860	420	100	1260	1140	350	220	1210
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±6	±5	±3	±3	
1500	Pタイプ	1000	860	480	100	1500	1900	430	280	2550
	Fタイプ	1000	860	480	100	1500	1900	430	280	2420
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±6	±8	±3	±3	
1750	Pタイプ	1000	860	480	100	1750	2300	430	280	2900
	Fタイプ	1000	860	480	100	1750	2300	430	280	2770
許容差		±5	±5	±3	+4, -2	±7	±9	±3	±3	

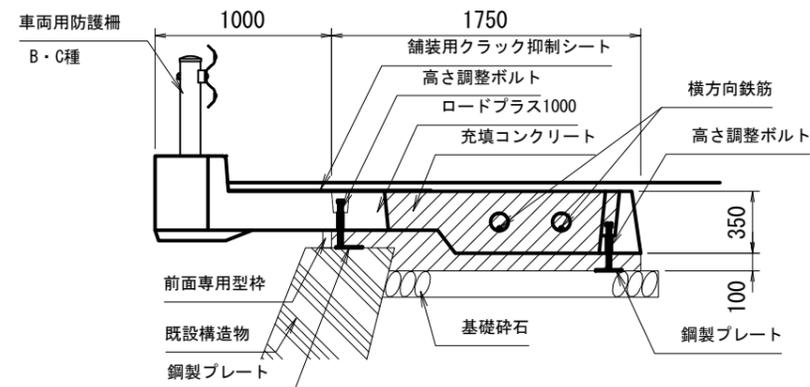
参考図表

張出幅1000 (Pタイプ)

大型車仕様



中型車仕様



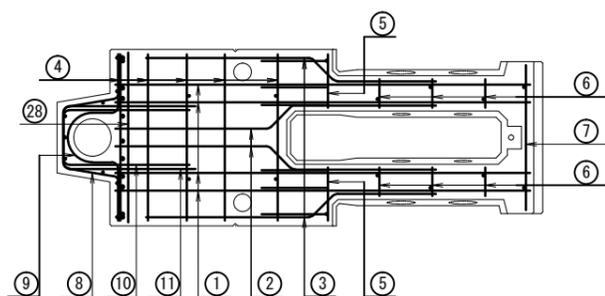
- 注) ・地域特性に応じて、大型車仕様または中型車仕様を選定する。
 ・PタイプとFタイプを交互に設置することを基本とする。また設置個数は5本以上とする。
 ・コンクリート擁壁等構造物上への設置を基本とする。地盤上に直接設置する場合は支持力や地盤全体の安定性に十分注意する。
 ・充填コンクリートは $\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$ 以上とする。

特記事項

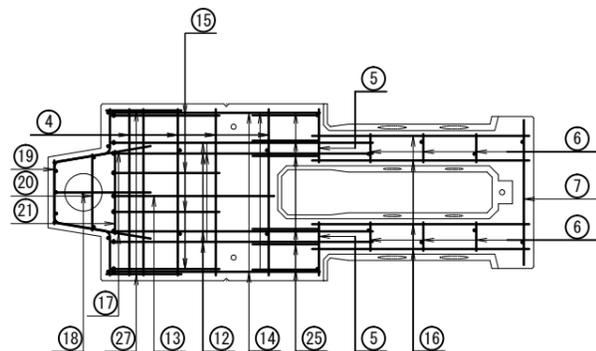
- ・ $\sigma_{ck} = 40\text{N/mm}^2$ 以上とする。
- ・鉄筋は、SD295A または SD345 とする。

張出幅 1000 Pタイプ (ポスト・支柱取付用)

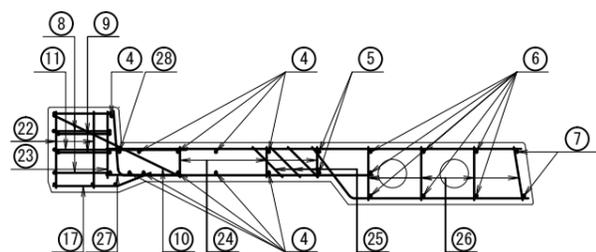
平面図 (上側)



平面図 (下側)

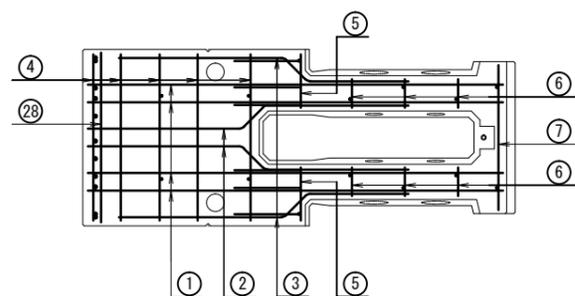


断面図

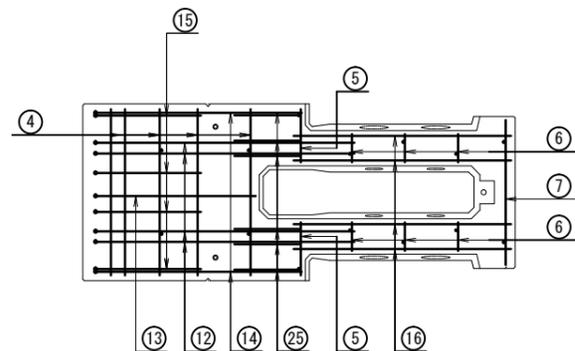


張出幅 1000 Fタイプ (フラット)

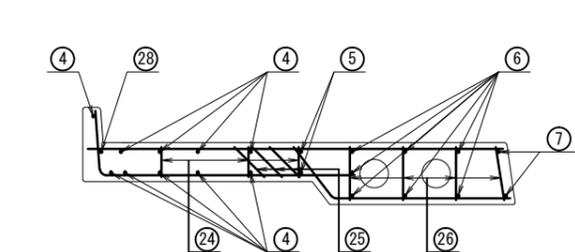
平面図 (上側)



平面図 (下側)

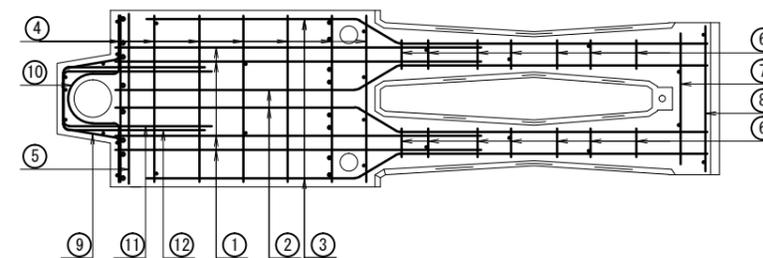


断面図

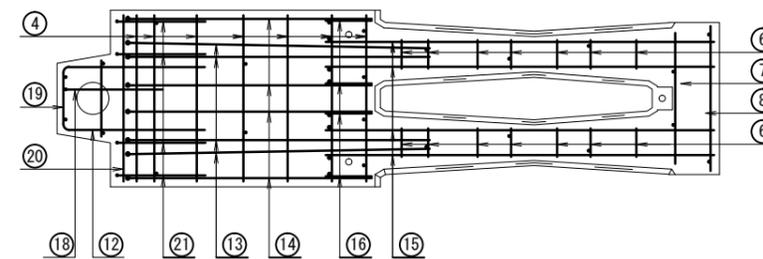


張出幅 1500 Pタイプ (ポスト・支柱取付用)

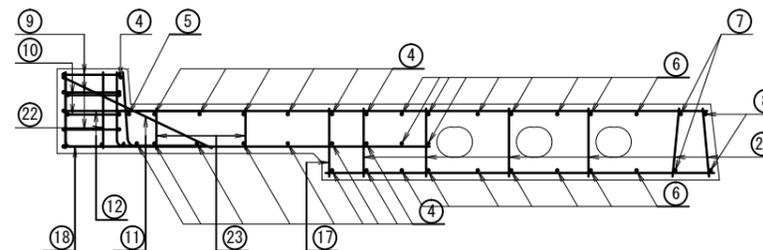
平面図 (上側)



平面図 (下側)

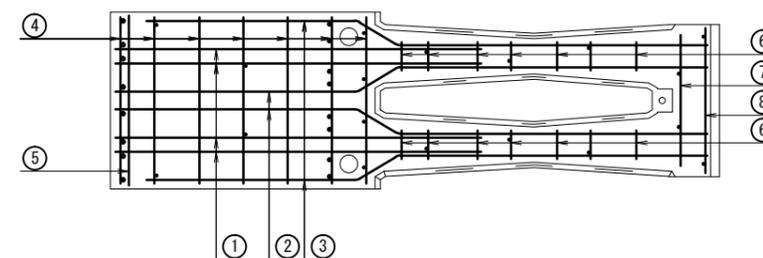


断面図

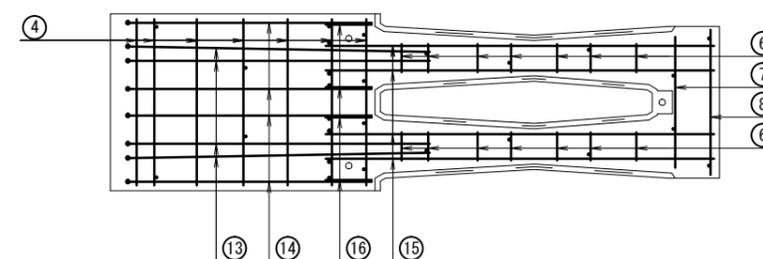


張出幅 1500 Fタイプ (フラット)

平面図 (上側)



平面図 (下側)



断面図

